

令和 6 年度

工 事 仕 様 書

国補

工 事 名	R6 上尾駅西口ペDESTリアンデッキ修繕工事						
工 事 場 所	上尾市谷津二丁目地内						
路 河 川 名 称							
事 業 名							
工 事 大 要	<p>工事延長 95.9m</p> <p>橋梁塗装工 852m²</p> <p>表面被覆工 69m²</p> <p>補修工 1橋 化粧パネル清掃工 223m²</p> <p>防水工 797m²</p> <p>基層工 45m³</p> <p>表層工 647m²</p> <p>点字ブロック工 45m²</p> <p>ノンスリップタイル工 104m²</p> <p>撤去工 1式 足場工 1橋</p> <p>鉛対策工 1橋 付帯工 1式</p>						

変更理由					
備考					
地区	県南(北本県土整備)	労務費補正	1.05	機械経費(賃料)補正	1.04
単価適用年月	令和06年06月01日付 公共				
工期	当初	自		至	
		日数			
	変更		至		
経費適用年月	公共 令和05年度(令和06年4月以降)				
主たる工種	橋梁保全工事				
施工地域	市街地(DID補正)(1)-1				
設計	当初金額		変更金額		
	工事価格				
	消費税相当額				
	合計				
請負	工事価格				
	消費税相当額				
	合計				
	請負増減額				
週休2日区分	4週8休補正				

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号 基 準
橋梁保全工事01	1	式			
橋梁保全工事	1	式			
橋梁補修工	1	式			
橋梁塗装工	1	式			
清掃・水洗い	852	m2			明 1号
素地調整（階段部） 2種ケレン	767	m2			明 2号
素地調整（橋脚部） 2種ケレン	85	m2			明 3号
下塗	852	m2			明 4号
中塗	852	m2			明 5号
上塗	852	m2			明 6号
表面被覆工	1	式			
表面被覆工	69	m2			明 7号
補修工	1	式			
断面修復工（左官工法、防錆処理無し）	1	橋			明 8号

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号 基 準
ひびわれ補修工（低圧注入工法）	1	橋			明 9 号
目地工（W=20mm）	276	m			明 10 号
目地工（W=15mm）	345	m			明 11 号
化粧パネル清掃工	1	式			
清掃・水洗い	223	m2			明 12 号
橋面工	1	式			
防水工	1	式			
防水工	797	m2			明 13 号
舗装工	1	式			
通路部舗装工	1	式			
基層	45	m3			明 14 号
表層	647	m2			明 15 号
点字ブロック	45	m2			明 16 号
階段部舗装工	1	式			

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号 基 準
ノンスリップタイル(階段用C型)	95	m2			明 17号
ノンスリップタイル(階段用L型)	9	m2			明 18号
撤去工	1	式			
舗装撤去工	1	式			
撤去・運搬処理	56	m3			明 19号
パネル撤去工	1	式			
化粧パネル撤去工	1	式			
化粧パネル撤去	174	m2			明 20号
鋼板切断	40	m			明 21号
鉄くず運搬処理工	1	式			
鉄くず運搬処理	2	t			明 22号
仮設工	1	式			
足場工	1	式			
吊り足場(階段部)	120	m2			明 23号

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号 基 準
吊り足場(通路部)	140	m2			明 24 号
枠組足場(橋脚部)	60	掛m2			明 25 号
鉛対策工	1	式			
防塵対策設備	1	式			
環境対策資機材	1	式			明 26 号
運搬・処分工	1	式			
産業廃棄物運搬処理	1	式			明 27 号
付帯工	1	式			
付帯工	1	式			
付帯工	1	式			明 28 号
【交通誘導警備員】	1	式			
【交通誘導警備員】	1	式			
【交通誘導警備員】		人日			明 29 号
直接工事費計					

本工事費内訳書					
費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号 基 準
共通仮設費計	1	式			
共通仮設費(積上げ)	1	式			
安全費	1	式			
安全衛生保護費 鉛対策用	1	式			特 12 号
共通仮設費(率化)	1	式			
共通仮設費率分	1	式			市街地(DID補正)(1)-1
純工事費	1	式			
現場管理費	1	式			市街地(DID補正)(1)-1
工事原価	1	式			
一般管理費等	1	式			金銭的保証を必要とする
(内 契約保証補正加算額)					
工事価格	1	式			
消費税等相当額	1	式			
合計					

第 7 号 明細書					
表面被覆工					
100 m2 当り					
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
表面被覆工（塗装工法）下地処理	100	m2			
表面被覆工（塗装工法）プライマー塗布	100	m2			
表面被覆工（塗装工法）下塗り（パテ塗布）	100	m2			
表面被覆工（塗装工法）中塗り材塗布 柔軟形エポキシ樹脂塗料	100	m2			
表面被覆工（塗装工法）上塗り材塗布 柔軟形珩素樹脂塗料	100	m2			
計					
単位当たり					

第 23 号 明細書		吊り足場(階段部)				100 m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準	
足場工 桁高1.5m未満	100	m2			代 11 号	
朝顔 両側朝顔	100	m2			代 12 号	
防護工 シート張防護 両側朝顔	100	m2			代 13 号	
防護工 シート張防護 両側朝顔	100	m2			代 13 号	
防護工 板張防護 両側朝顔	100	m2			代 14 号	
計						
単位当たり						

第 28 号 明細書						付帯工
						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準	
人力運搬(積込み～運搬～取卸し) 換算距離60m以下	56.2	m3			P 7 号	
場外搬出	1	式			特 6 号	
仮囲い設置・撤去 単管柵・囲い高さ2m	187	m			明 30 号	
資機材荷揚		日			特 7 号	
仮設点字マット設置・撤去工	187	m			特 8 号	
音声案内設置	5	基			特 9 号	
計						

第 5 号 特殊単価表		環境対策資機材 鉛対策用 設置期間0.8ヶ月			1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
負圧集塵機	1.6	台			
負圧除塵機用1次フィルター	36	枚			
負圧除塵機用2次フィルター	7	枚			
負圧除塵機用チャコールフィルター	2	枚			
負圧集塵機用HEPAフィルター	2	枚			
粉塵清掃用クリーナー 真空掃除機	1.6	台・月			
粉塵清掃用クリーナー用1次フィルター	7	枚			
粉塵清掃用クリーナー用2次フィルター	2	枚			
粉塵清掃用クリーナー用チャコールフィルタ	2	枚			
粉塵清掃用クリーナー用HEPAフィルター	2	枚			
クリーンルーム	1	台・月			
エアシャワー	0.8	台・月			
エアシャワー用1次フィルター	4	枚			
エアシャワー用チャコールフィルター	1	枚			

第 12 号 特殊単価表					
安全衛生保護費 鉛対策用					
1 式 当り					
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
電動ファン付呼吸用保護具 全面形面体	8	個			
呼吸用保護具用フィルタ	480	個			
使い捨て全身化学防護服	480	着			
化学防護手袋	480	組			
シューズカバー	480	足			
計					
単位当たり					

第 6 号 代価表		断面修復工(左官工法) 鉄筋ㄥ・鉄筋防錆処理無			
					1 構造物 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
土木一般世話役		人			4週8休補正
特殊作業員		人			4週8休補正
普通作業員		人			4週8休補正
ポリマーセメントモルタル	0.008	m3			
諸 雑 費 (率 + 丸 め)		%			
計					
単位当たり					

第 7 号 代価表		ひび割れ補修工(低圧注入工法)				1 構造物 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準	
土木一般世話役		人			4週8休補正	
特殊作業員		人			4週8休補正	
普通作業員		人			4週8休補正	
注入材 エポキシ	0.2	kg				
シール材 エポキシ	1.918	kg				
低圧注入器具	47	個				
諸 雑 費 (率 + 丸 め)		%				
計						
単位当たり						

第 18 号 代価表					
足場工					
100 掛m2 当り					
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
土木一般世話役		人			4週8休補正
とび工		人			4週8休補正
普通作業員		人			4週8休補正
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型] 25t吊		日			4週8休補正
諸 雑 費 (率 + 丸 め)		%			
計					
単位当たり					

第 1 号 施工パッケージ モルタル練 普通							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準	
【労務】							
普通作業員						4週8休補正	
土木一般世話役						4週8休補正	
その他(労務)							
【材料】							
セメント(普通ポルトランド) 25kg袋入							
コンクリート用骨材 砂 洗い細目							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 セメント種類 普通			[J3] = 1	費用の内訳 全ての費用			

第 2 号 施工パッケージ 特殊ブロック舗装 設置 30cm × 30cm 1 m2 当り						
名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【労務】						
普通作業員						4週8休補正
ブロック工						4週8休補正
土木一般世話役						4週8休補正
特殊作業員						4週8休補正
その他(労務)						
【材料】						
ノンスリップタイルC型 モルタル30×30						
【端数調整】						
[条件] [J1] = 1 作業区分 設置				[J2] = 1 ブロック規格 30cm × 30cm		

第 3 号 施工パッケージ 特殊ブロック舗装 設置 30cm × 30cm 1 m2 当り						
名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【労務】						
普通作業員						4週8休補正
ブロック工						4週8休補正
土木一般世話役						4週8休補正
特殊作業員						4週8休補正
その他(労務)						
【材料】						
ノンスリップタイルL型 モルタル30×30						
【端数調整】						
[条件] [J1] = 1 作業区分 設置				[J2] = 1 ブロック規格 30cm × 30cm		

第 4 号 施工パッケージ 殻運搬 コンクリ(無筋)構造物とりこわし 機械積込							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構 成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準	
【機械】							
ダンプトラック ワ-ド・ディ-ゼル 10t 積級							
【労務】							
運転手(一般)						4週8休補正	
【材料】							
軽油							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 殻発生产業 コンクリ(無筋)構造物とりこわし [J3] = 2 DID区間の有無 DID区間有 [JJ] = 1 費用の内訳 全ての費用			[J2] = 1 積込工法区分 機械積込 [JE] = 3 運搬距離 5.7km以下				

第 6 号 施工パッケージ 現場発生産品及び支給品運搬 クレーン装置付2t級 吊能力2.9t 1 t 当り						
名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構 成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】						
トラック[クレーン装置付] ペ-トラック2t積 吊能力2.9t						
【労務】						
特殊作業員						4週8休補正
運転手(特殊)						4週8休補正
【材料】						
軽油						
【端数調整】						
【条件】 [J1] = 1 トラック機種 クレーン装置付2t級 吊能力2.9t [J6] = 3 片道運搬距離(km) 5.0km以下				[J4] = 2 DID区間の有無 DID区間有		

数 量 概 要 表

1/2

工 種	種 別 ・ 規 格	単 位	数 量	摘 要
西口 ペDESTリアンデッキ修繕				延長 95.9m
橋梁補修工				
橋梁塗装工	2種ケレン・Rc-Ⅱ 塗装系	m ²	852	階段部767m ² +橋脚部85m ²
表面被覆工	柔軟形エポキシ樹脂塗料 柔軟形フッ素樹脂塗料	m ²	69	下塗り・中塗り・上塗り
補修工	左官工・低圧注入工法	橋	1	断面修復・ひび割れ・目地補修
化粧パネル清掃工	清掃・水洗い	m ²	223	素地調整・防水処理
橋面工				
防水工	3種ケレン・塗膜系防水	m ²	797	素地調整・防水処理
通路部舗装工				
基層工	セメントモルタル(平均70mm)	m ³	45	通路部・階段部
表層工	外装床タイル300角1類	m ²	647	通路部
点字ブロック工	300×300×10	m ²	45	線状・点状タイル
階段部舗装工				
ノンスリップタイル工	300×300×25(踏面・踊場)	m ²	104	C型127.4m+L型14.8m

R6 上尾駅西口ペデストリアンデッキ修繕工事 数量総括表

工種	種別・細別	規格	単位	数量								合計	
				1径間	2径間	3径間	4径間	5径間	6径間	7径間	8径間		
橋梁補修工													
橋梁塗装工			m ²										852
	清掃・水洗い			13.8	13.3	12.2	14.0	32.2	401.4	265.0	100.1		852
	素地調整	階段部・2種ケレン		-	-	-	-	-	401.4	265.0	100.1		767
	素地調整	橋脚部・2種ケレン		13.8	13.3	12.2	14.0	32.2	-	-	-		85
	下塗り	Rc-II 塗装系		13.8	13.3	12.2	14.0	32.2	401.4	265.0	100.1		852
	下塗り	Rc-II 塗装系		13.8	13.3	12.2	14.0	32.2	401.4	265.0	100.1		852
	下塗り	Rc-II 塗装系		13.8	13.3	12.2	14.0	32.2	401.4	265.0	100.1		852
	中塗り	Rc-II 塗装系		13.8	13.3	12.2	14.0	32.2	401.4	265.0	100.1		852
	上塗り	Rc-II 塗装系		13.8	13.3	12.2	14.0	32.2	401.4	265.0	100.1		852
表面被覆工			m ²										69
	下地処理			8.5	7.8	8.8	8.9	9.0	9.2	11.2	5.8		69
	プライマー塗布			8.5	7.8	8.8	8.9	9.0	9.2	11.2	5.8		69
	下塗り (パテ塗布)			8.5	7.8	8.8	8.9	9.0	9.2	11.2	5.8		69
	中塗り	柔軟形エポキシ樹脂塗料		8.5	7.8	8.8	8.9	9.0	9.2	11.2	5.8		69
	上塗り	柔軟形ふっ素樹脂塗料		8.5	7.8	8.8	8.9	9.0	9.2	11.2	5.8		69
補修工			橋										1
	断面修復工	左官工法 (ケレン・防錆処理無)	m ³	0.003	0.001	-	-	0.002	-	-	0.001		0.007
	ひびわれ補修工	低圧注入工法 (エポキシ樹脂)	m	9.5	-	4.3	-	-	-	-	-		13.8
		注入材	kg	0.1	-	0.1	-	-	-	-	-		0.2
		シーリング材	kg	1.0	-	0.4	-	-	-	-	-		1.4
		注入器具	個	32	-	15	-	-	-	-	-		47
	目地工 (W=20mm)	W=20mm	m	34.0	31.0	35.0	35.5	36.0	36.7	44.7	23.0		276
	目地工 (W=15mm)	W=15mm	m	42.5	38.8	43.8	44.4	45.0	45.9	55.9	28.8		345
化粧パネル清掃工	清掃・水洗い		m ²	44.2	40.3	45.5	46.2	46.8	-	-	-		223
橋面工													
防水工			m ²										797
	素地調整	3種ケレン		162.8	110.5	105.0	112.8	156.2	73.6	50.0	25.7		797
	防水工	塗膜系		162.8	110.5	105.0	112.8	156.2	73.6	50.0	25.7		797
通路部舗装工													
基層工	基層工	セメントモルタル	m ³	10.8	7.3	7.0	7.5	10.1	1.2	1.4	-		45
表層工	表層工	外装床タイル300角 I 類	m ²	154.5	103.9	99.8	107.5	144.5	17.2	19.8	-		647
点字ブロック工	点字ブロック工	300×300×10	m ²	8.3	10.2	5.3	5.3	16.0	-	-	-		45
階段部舗装工													
ノンスリップタイル工			m ²										104
ノンスリップタイル工 (C型)	ノンスリップタイル工	モルタルC型300×300×25	m ²	-	-	-	-	-	49.2	23.0	23.0		95
ノンスリップタイル工 (L型)	ノンスリップタイル工	モルタルL型300×300×25	m ²	-	-	-	-	-	3.6	2.8	2.7		9

橋梁補修工

橋梁塗装工

名称	単位	外面塗装 (A)	内面塗装 (B)	合計	適要
P1橋脚	m ²	13.75	-	13.75	
合計	m ²	13.75	-	13.75	

表 Rc - II 塗装系 (はけ、ローラー) : 外面塗装

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	2種ケレン		4時間以内
下塗り	有機ジンクリッチペイント	(240)	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	140	1日～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	120	1日～10日

鋼道路橋防食便覧 (平成26年3月) II-118より

表面被覆工 (塗装工法)

$$L = 7.50 + 22.27 + 4.26 = 34.0 \text{ m}$$

$$A = 34.00 \times 0.250 = 8.5 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 8.5 \text{ m}^2$$

補修工 (断面修復工)

1) 数量表

部位	部材	損傷 番号	損傷状況	幅 (m)	長さ (m)	面積 (m ²)	備考
上部工	地覆	1	うき	1.10	0.10	0.110	
損傷面積 $\Sigma A =$						0.110 m ²	

2) 体積 (深さ30mmと想定)

$$V = 0.110 \times 0.03 = 0.003 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.003 \text{ m}^3$$

補修工 (ひびわれ補修工)

1) 数量表

部位	部材名	損傷 番号	損傷状況	幅 (m)	長さ (m)	備考
上部工	地覆	1	ひびわれ	W=0.20mm	9.50	
ひびわれ延長 (0.2mm以上1.0mm未満) 合計=				9.50 m		

2) ひびわれ延長 (0.2mm以上1.0mm未満)

$$W=0.20\text{mm} \quad L = 9.50 \quad = 9.50 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 9.5 \text{ m}$$

3) 体積 (深さはひびわれ幅の200倍と想定)

$$W=0.20\text{mm} \quad V = \frac{L}{1000} \times W \times t \quad = 0.0001 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.0001 \text{ m}^3$$

4) 注入材 (エポキシ樹脂)

$$W = \Sigma V \times 1200 \quad = 0.1 \text{ kg}$$

$$\Sigma W = 0.1 \text{ kg}$$

※比重根拠：令和2年度版 土木工事積算基準より

5) シール材 (幅30mm×厚2mm)

$$W = \Sigma L \times W \times t \times 1700 \quad = 1.0 \text{ kg}$$

$$\Sigma W = 1.0 \text{ kg}$$

※比重根拠：令和2年度版 土木工事積算基準より

6) 注入器具 (パイプ間隔30cmより)

$$N = \frac{\Sigma L}{0.30} \quad = 32 \text{ 個}$$

$$\Sigma N = 32 \text{ 個}$$

補修工 (目地工)

$$W=20\text{mm} \quad L = 7.50 + 22.27 + 4.26 \quad = 34.0 \text{ m}$$

$$\Sigma L (W=20\text{mm}) = 34.0 \text{ m}$$

$$W=15\text{mm} \quad L = 7.50 + 22.27 + 4.26 \quad = 34.0 \text{ m}$$

$$W=15\text{mm} \quad L = 34.00 / 2.00 \times 0.50 \quad = 8.5 \text{ m}$$

$$\Sigma L (W=15\text{mm}) = 42.5 \text{ m}$$

化粧パネル清掃工

$$L = 7.50 + 22.27 + 4.26 \quad = 34.0 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 34.0 \text{ m}$$

$$A = 34.00 \times W \quad = 44.2 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 44.2 \text{ m}^2$$

橋面工

防水工

(1) 素地調整工

$$A = 162.76 \quad (\text{CAD計測より}) \qquad = 162.8 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 162.8 \text{ m}^2$$

(2) 防水工

$$A = 162.76 \quad (\text{CAD計測より}) \qquad = 162.8 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 162.8 \text{ m}^2$$

舗装工

通路部舗装工

(1) 基層工

1) 数量表

$$A = 154.51 \quad (\text{CAD計測より}) \qquad = 154.5 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 154.5 \text{ m}^2$$

2) 体積(平均厚70mmと想定)

$$V = \frac{\Sigma A}{1000} \times \text{厚さ} \qquad = 10.8 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 10.8 \text{ m}^3$$

(2) 表層工

$$A = 154.51 \quad (\text{CAD計測より}) \qquad = 154.5 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 154.5 \text{ m}^2$$

(3) 点字ブロック工

$$A = 8.30 \quad (\text{CAD計測より}) \qquad = 8.3 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 8.3 \text{ m}^2$$

撤去工

(1) 舗装撤去工 (タイル)

$$V(\text{通路}) = (154.5 + 8.3) \times \overset{\text{厚さ}}{0.010} \quad (\text{舗装厚10mmを想定}) = 1.6 \text{ m}^3$$

$$V(\text{地覆}) = \overset{\text{表面被覆工より}}{8.5} \times \overset{\text{厚さ}}{0.010} \quad (\text{舗装厚10mmを想定}) = 0.1 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 1.7 \text{ m}^3$$

1) 運搬 (タイル)

$$V = 1.7 = 1.7 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 1.7 \text{ m}^3$$

2) 処理 (タイル)

$$W = \overset{V}{1.7} \times \overset{\text{t/m}^3}{2.35} = 4.0 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 4.0 \text{ t}$$

(2) 基層撤去工 (基層)

$$V = 10.8 \quad (\text{舗装工より}) = 10.8 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 10.8 \text{ m}^3$$

1) 運搬

$$V = 10.8 = 10.8 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 10.8 \text{ m}^3$$

2) 処理

$$W = \overset{V}{10.8} \times \overset{\text{t/m}^3}{2.35} = 25.4 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 25.4 \text{ t}$$

仮設工

足場工

(1) 吊足場

1) 吊足場

$$A = 27.2 \quad (\text{CAD計測より}) = 27.2 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 27.2 \text{ m}^2$$

2) シート保護工

$$A = 27.2 \quad (\text{CAD計測より}) \qquad = 27.2 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 27.2 \text{ m}^2$$

(2) 枠組足場

$$\text{P1橋脚} \quad A = \frac{B}{0.71} \times \frac{h}{6.18} \times \text{箇所数} \qquad = 8.8 \text{ 掛m}^2$$

$$\Sigma A = 8.8 \text{ 掛m}^2$$

橋梁補修工

橋梁塗装工

名称	単位	外面塗装 (A)	内面塗装 (B)	合計	適要
P2橋脚	m ²	12.99	-	12.99	
支承(P2橋脚)	m ²	0.33	-	0.33	
合計	m ²	13.32	-	13.32	

表 Rc - II 塗装系 (はけ、ローラー) : 外面塗装

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	2種ケレン		4時間以内
下塗り	有機ジンクリッチペイント	(240)	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	140	1日～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	120	1日～10日

鋼道路橋防食便覧 (平成26年3月) II-118より

表面被覆工 (塗装工法)

$$L = 18.15 + 12.82 = 31.0 \text{ m}$$

$$A = 31.00 \times 0.250 = 7.8 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 7.8 \text{ m}^2$$

断面修復工

1) 数量表

部位	部材	損傷 番号	損傷状況	幅 (m)	長さ (m)	面積 (m ²)	備考
上部工	地覆	1	剥離	0.05	0.10	0.005	
	地覆	2	うき	0.05	0.10	0.005	
	地覆	3	うき	0.05	0.10	0.005	
損傷面積 $\Sigma A =$						0.015 m ²	

2) 体積 (深さ30mmと想定)

$$V = \Sigma A \times \text{深さ} = 0.015 \times 0.03 = 0.001 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.001 \text{ m}^3$$

目地工

$$W=20\text{mm} \quad L = 18.15 + 12.82 = 31.0 \text{ m}$$

$$\Sigma L (W=20\text{mm}) = 31.0 \text{ m}$$

$$W=15\text{mm} \quad L = 18.15 + 12.82 = 31.0 \text{ m}$$

$$W=15\text{mm} \quad L = 31.00 / 2.00 \times 0.50 = 7.8 \text{ m}$$

$$\Sigma L (W=15\text{mm}) = 38.8 \text{ m}$$

化粧パネル清掃工

$$L = 18.15 + 12.82 = 31.0 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 31.00 \text{ m}$$

$$A = 31.00 \times \frac{W}{1.30} = 40.3 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 40.3 \text{ m}^2$$

橋面工

防水工

(1) 素地調整工

$$A = 110.49 \text{ (CAD計測より)} = 110.5 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 110.5 \text{ m}^2$$

(2) 防水工

$$A = 110.49 \text{ (CAD計測より)} = 110.5 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 110.5 \text{ m}^2$$

舗装工

通路部舗装工

(1) 基層工

1) 数量表

$$A = 103.91 \quad (\text{CAD計測より}) \quad = \quad 103.9 \quad \text{m}^2$$

$$\Sigma A = 103.9 \quad \text{m}^2$$

2) 体積(平均厚70mmと想定)

$$V = \frac{\Sigma A}{\text{厚さ}} \times \text{厚さ} = 7.3 \quad \text{m}^3$$

$$\Sigma V = 7.3 \quad \text{m}^3$$

(2) 表層工

$$A = 103.91 \quad (\text{CAD計測より}) \quad = \quad 103.9 \quad \text{m}^2$$

$$\Sigma A = 103.9 \quad \text{m}^2$$

(3) 点字ブロック工

$$A = 6.58 + \frac{3.63}{(6\text{径間})} \quad (\text{CAD計測より}) \quad = \quad 10.2 \quad \text{m}^2$$

$$\Sigma A = 10.2 \quad \text{m}^2$$

撤去工

舗装撤去工 (タイル)

(1) 舗装撤去工 (タイル)

$$V(\text{通路}) = (103.9 + 10.2) \times \frac{\text{厚さ}}{1000} \quad (\text{舗装厚10mmを想定}) \quad = \quad 1.1 \quad \text{m}^3$$

$$V(\text{地覆}) = \frac{\text{表面被覆工より}}{7.8} \times \frac{\text{厚さ}}{1000} \quad (\text{舗装厚10mmを想定}) \quad = \quad 0.1 \quad \text{m}^3$$

$$\Sigma V = 1.2 \quad \text{m}^3$$

1) 運搬 (タイル)

$$V = 1.2 \quad = \quad 1.2 \quad \text{m}^3$$

$$\Sigma V = 1.2 \quad \text{m}^3$$

2) 処理 (タイル)

$$W = \frac{V}{1.2} \times 2.35 = 2.8 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 2.8 \text{ t}$$

(2) 基層撤去工 (基層)

$$V = 7.3 \text{ (舗装工より)} = 7.3 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 7.3 \text{ m}^3$$

1) 運搬

$$V = 7.3 = 7.3 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 7.3 \text{ m}^3$$

2) 処理

$$W = \frac{V}{7.3} \times 2.35 = 17.2 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 17.2 \text{ t}$$

仮設工

足場工

(1) 吊足場

1) 吊足場

$$A = 29.0 \text{ (CAD計測より)} = 29.0 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 29.0 \text{ m}^2$$

2) シート保護工

$$A = 29.0 \text{ (CAD計測より)} = 29.0 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 29.0 \text{ m}^2$$

(2) 枠組足場

$$\text{P2橋脚 } A = \frac{B}{0.71} \times \frac{h}{5.84} \times \text{箇所数} = 8.3 \text{ 掛m}^2$$

$$\Sigma A = 8.3 \text{ 掛m}^2$$

橋梁補修工

橋梁塗装工

名称	単位	外面塗装 (A)	内面塗装 (B)	合計	適要
P3橋脚	m ²	12.22	-	12.22	
合計	m ²	12.22	-	12.22	

表 Rc - II 塗装系 (はけ、ローラー) : 外面塗装

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	2種ケレン		4時間以内
下塗り	有機ジンクリッチペイント	(240)	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	140	1日～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	120	1日～10日

鋼道路橋防食便覧 (平成26年3月) II-118より

表面被覆工 (塗装工法)

$$L = 17.50 + 17.50 = 35.0 \text{ m}$$

$$A = 35.00 \times 0.250 = 8.8 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 8.8 \text{ m}^2$$

補修工 (ひびわれ補修工)

1) 数量表

部位	部材名	損傷 番号	損傷状況	幅 (m)	長さ (m)	備考
上部工	地覆	1	ひびわれ	W=0.20mm	4.30	
ひびわれ延長(0.2mm以上1.0mm未満)合計=				4.30 m		

2) ひびわれ延長(0.2mm以上1.0mm未満)

$$W=0.20\text{mm} \quad L = 4.30 = 4.30 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 4.3 \text{ m}$$

3) 体積(深さはひびわれ幅の200倍と想定)

$$W=0.20\text{mm} \quad V = \frac{L \times W \times t}{1000} = \frac{4.30 \times 0.20 \times 0.04}{1000} = 0.0001 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.0001 \text{ m}^3$$

4) 注入材 (エポキシ樹脂)

$$W = \frac{\Sigma V}{1000} \times \text{比重} = 0.0001 \times 1200 = 0.1 \text{ kg}$$

$$\Sigma W = 0.1 \text{ kg}$$

※比重根拠：令和2年度版 土木工事積算基準より

5) シール材 (幅30mm×厚2mm)

$$W = \frac{\Sigma L}{1000} \times \text{厚} \times \text{幅} \times \text{比重} = 4.3 \times 0.03 \times 0.002 \times 1700 = 0.4 \text{ kg}$$

$$\Sigma W = 0.4 \text{ kg}$$

※比重根拠：令和2年度版 土木工事積算基準より

6) 注入器具 (パイプ間隔30cmより)

$$N = \frac{\Sigma L}{\text{間隔}} = 4.3 \div 0.30 = 15 \text{ 個}$$

$$\Sigma N = 15 \text{ 個}$$

補修工 (目地工)

$$W=20\text{mm} \quad L = 17.50 + 17.50 = 35.0 \text{ m}$$

$$\Sigma L (W=20\text{mm}) = 35.0 \text{ m}$$

$$W=15\text{mm} \quad L = 17.50 + 17.50 = 35.0 \text{ m}$$

$$W=15\text{mm} \quad L = 35.00 / 2.00 \times 0.50 = 8.8 \text{ m}$$

$$\Sigma L (W=15\text{mm}) = 43.8 \text{ m}$$

化粧パネル清掃工

$$L = 17.50 + 17.50 = 35.0 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 35.0 \text{ m}$$

$$A = \Sigma L \times \text{厚} = 35.00 \times 1.30 = 45.5 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 45.5 \text{ m}^2$$

橋面工

防水工

(1) 素地調整工

$$A = \text{幅} \times \text{厚} = 17.50 \times 6.00 = 105.0 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 105.0 \text{ m}^2$$

(2) 防水工

$$A = \frac{B}{17.50} \times \frac{W}{6.00} = 105.0 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 105.0 \text{ m}^2$$

舗装工

通路部舗装工

(1) 基層工

1) 数量表

$$A = \frac{B}{17.50} \times \frac{W}{5.70} = 99.8 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 99.8 \text{ m}^2$$

2) 体積(平均厚70mmと想定)

$$V = \frac{\Sigma A}{99.8} \times \frac{\text{厚さ}}{0.07} = 7.0 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 7.0 \text{ m}^3$$

(2) 表層工

$$A = \frac{B}{17.50} \times \frac{W}{5.70} = 99.8 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 99.8 \text{ m}^2$$

(3) 点字ブロック工

$$A = \frac{B}{17.50} \times \frac{W}{0.30} = 5.3 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 5.3 \text{ m}^2$$

撤去工

(1) 舗装撤去工 (タイル)

$$V(\text{通路}) = \left(\frac{99.8}{99.8} + \frac{5.3}{5.3} \right) \times \frac{\text{厚さ}}{0.010} \text{ (舗装厚10mmを想定)} = 1.1 \text{ m}^3$$

$$V(\text{地覆}) = \frac{\text{表面被覆工より}}{8.8} \times \frac{\text{厚さ}}{0.010} \text{ (舗装厚10mmを想定)} = 0.1 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 1.2 \text{ m}^3$$

1) 運搬 (タイル)

$$V = 1.2 \qquad \qquad \qquad = 1.2 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 1.2 \text{ m}^3$$

2) 処理 (タイル)

$$W = \frac{V}{2.35} = 1.2 \times 2.35 = 2.8 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 2.8 \text{ t}$$

(2) 基層撤去工 (基層)

$$V = 7.0 \text{ (舗装工より)} \qquad \qquad \qquad = 7.0 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 7.0 \text{ m}^3$$

1) 運搬

$$V = 7.0 \qquad \qquad \qquad = 7.0 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 7.0 \text{ m}^3$$

2) 処理

$$W = \frac{V}{2.35} = 7.0 \times 2.35 = 16.5 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 16.5 \text{ t}$$

仮設工

足場工

(1) 吊足場

1) 吊足場

$$A = \frac{B \times W}{2} = 17.50 \times 0.80 \times 2 = 28.0 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 28.0 \text{ m}^2$$

2) シート保護工

$$A = \frac{B \times W}{2} = 17.50 \times 0.80 \times 2 = 28.0 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 28.0 \text{ m}^2$$

(2) 枠組足場

$$\text{P3橋脚} \quad A = \frac{B \times h}{2} = 0.71 \times 5.51 \times 2 = 7.8 \text{ 掛m}^2$$

$$\Sigma A = 7.8 \text{ 掛m}^2$$

橋梁補修工

橋梁塗装工

名 称	単位	外面塗装 (A)	内面塗装 (B)	合 計	適 要
P4橋脚	m ²	13.97	-	13.97	
合 計	m ²	13.97	-	13.97	

表 Rc - II 塗装系 (はけ、ローラー) : 外面塗装

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	2種ケレン		4時間以内
下塗り	有機ジンクリッチペイント	(240)	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	140	1日～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	120	1日～10日

鋼道路橋防食便覧 (平成26年3月) II-118より

表面被覆工 (塗装工法)

$$L = 17.50 + 18.00 = 35.5 \text{ m}$$

$$A = 35.50 \times 0.250 = 8.9 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 8.9 \text{ m}^2$$

目地工

$$W=20\text{mm} \quad L = 17.50 + 18.00 = 35.5 \text{ m}$$

$$\Sigma L (W=20\text{mm}) = 35.5 \text{ m}$$

$$W=15\text{mm} \quad L = 17.50 + 18.00 = 35.5 \text{ m}$$

$$W=15\text{mm} \quad L = 35.50 / 2.00 \times 0.50 = 8.9 \text{ m}$$

$$\Sigma L (W=15\text{mm}) = 44.4 \text{ m}$$

化粧パネル清掃工

$$L = 17.50 + 18.00 = 35.5 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 35.5 \text{ m}$$

$$A = 35.50 \times 1.30 = 46.2 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 46.2 \text{ m}^2$$

橋面工

防水工

(1) 素地調整工

$$A = 112.77 \quad (\text{CAD計測より}) \qquad = \quad 112.8 \quad \text{m}^2$$

$$\Sigma A = 112.8 \quad \text{m}^2$$

(2) 防水工

$$A = 112.77 \quad (\text{CAD計測より}) \qquad = \quad 112.8 \quad \text{m}^2$$

$$\Sigma A = 112.8 \quad \text{m}^2$$

舗装工

通路部舗装工

(1) 基層工

1) 数量表

$$A = 107.52 \quad (\text{CAD計測より}) \qquad = \quad 107.5 \quad \text{m}^2$$

$$\Sigma A = 107.5 \quad \text{m}^2$$

2) 体積(平均厚70mmと想定)

$$V = \frac{\Sigma A}{\text{厚さ}} \times \text{厚さ} \qquad = \quad 7.5 \quad \text{m}^3$$

$$\Sigma V = 7.5 \quad \text{m}^3$$

(2) 表層工

$$A = 107.52 \quad (\text{CAD計測より}) \qquad = \quad 107.5 \quad \text{m}^2$$

$$\Sigma A = 107.5 \quad \text{m}^2$$

(3) 点字ブロック工

$$A = \frac{B}{W} \times W \qquad = \quad 5.3 \quad \text{m}^2$$

$$\Sigma A = 5.3 \quad \text{m}^2$$

撤去工

(1) 舗装撤去工 (タイル)

$$V(\text{通路}) = (107.5 + 5.3) \times \overset{\text{厚さ}}{0.010} \quad (\text{舗装厚10mmを想定}) = 1.1 \text{ m}^3$$

$$V(\text{地覆}) = \overset{\text{表面被覆工より}}{8.9} \times \overset{\text{厚さ}}{0.010} \quad (\text{舗装厚10mmを想定}) = 0.1 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 1.2 \text{ m}^3$$

1) 運搬 (タイル)

$$V = 1.2 = 1.2 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 1.2 \text{ m}^3$$

2) 処理 (タイル)

$$W = \overset{V}{1.2} \times \overset{\text{t/m}^3}{2.35} = 2.8 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 2.8 \text{ t}$$

(2) 基層撤去工 (基層)

$$V = 7.5 \quad (\text{舗装工より}) = 7.5 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 7.5 \text{ m}^3$$

1) 運搬

$$V = 7.5 = 7.5 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 7.5 \text{ m}^3$$

2) 処理

$$W = \overset{V}{7.5} \times \overset{\text{t/m}^3}{2.35} = 17.6 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 17.6 \text{ t}$$

仮設工

足場工

(1) 吊足場

1) 吊足場

$$A = 28.4 \quad (\text{CAD計測より}) \qquad = 28.4 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 28.4 \text{ m}^2$$

2) シート保護工

$$A = 28.4 \quad (\text{CAD計測より}) \qquad = 28.4 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 28.4 \text{ m}^2$$

(2) 枠組足場

$$\text{P4橋脚} \quad A = \frac{B}{0.71} \times \frac{h}{5.29} \times \text{箇所数} \qquad = 7.5 \text{ 掛m}^2$$

$$\Sigma A = 7.5 \text{ 掛m}^2$$

橋梁補修工

橋梁塗装工

名称	単位	外面塗装 (A)	内面塗装 (B)	合計	適要
P5橋脚	m ²	11.01	-	11.01	
P6-1橋脚	m ²	10.58	-	10.58	
P6-2橋脚	m ²	10.57	-	10.57	
合計	m ²	32.16	-	32.16	

表 Rc - II 塗装系 (はけ、ローラー) : 外面塗装

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	2種ケレン		4時間以内
下塗り	有機ジンクリッチペイント	(240)	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	140	1日～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	120	1日～10日

鋼道路橋防食便覧 (平成26年3月) II-118より

表面被覆工 (塗装工法)

$$L = 17.71 + \frac{18.33}{W} = 36.0 \text{ m}$$

$$A = 36.00 \times 0.250 = 9.0 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 9.0 \text{ m}^2$$

断面修復工

1) 数量表

部位	部材	損傷 番号	損傷状況	幅 (m)	長さ (m)	面積 (m ²)	備考
上部工	地覆	1	うき	0.20	0.20	0.040	
	地覆	2	うき	0.20	0.20	0.040	
損傷面積 $\Sigma A =$						0.080 m ²	

2) 体積 (深さ30mmと想定)

$$V = \Sigma A \times \text{深さ} = 0.080 \times 0.03 = 0.002 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.002 \text{ m}^3$$

目地工

$$W=20\text{mm} \quad L = 17.71 + 18.33 = 36.0 \text{ m}$$

$$\Sigma L (W=20\text{mm}) = 36.0 \text{ m}$$

$$W=15\text{mm} \quad L = 17.71 + 18.33 = 36.0 \text{ m}$$

$$W=15\text{mm} \quad L = 36.00 / 2.00 \times 0.50 = 9.0 \text{ m}$$

$$\Sigma L (W=15\text{mm}) = 45.0 \text{ m}$$

化粧パネル清掃工

$$L = 17.71 + 18.33 = 36.0 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 36.0 \text{ m}$$

$$A = 36.00 \times \begin{matrix} W \\ 1.30 \end{matrix} = 46.8 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 46.8 \text{ m}^2$$

橋面工

防水工

(1) 素地調整工

$$A = 156.23 \text{ (CAD計測より)} = 156.2 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 156.2 \text{ m}^2$$

(2) 防水工

$$A = 156.23 \text{ (CAD計測より)} = 156.2 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 156.2 \text{ m}^2$$

舗装工

通路部舗装工

(1) 基層工

1) 数量表

$$A = 144.49 \text{ (CAD計測より)} = 144.5 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 144.5 \text{ m}^2$$

2) 体積 (平均厚70mmと想定)

$$V = \frac{\Sigma A}{1000} \times \text{厚さ} = 10.1 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 10.1 \text{ m}^3$$

(2) 表層工

$$A = 144.49 \text{ (CAD計測より)} = 144.5 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 144.5 \text{ m}^2$$

(3) 点字ブロック工

$$A = 11.70 + \frac{4.30}{1000} \text{ (7径間)} \text{ (CAD計測より)} = 16.0 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 16.0 \text{ m}^2$$

撤去工

(1) 舗装撤去工 (タイル)

$$V(\text{通路}) = (144.5 + 16.0) \times \frac{\text{厚さ}}{1000} \text{ (舗装厚10mmを想定)} = 1.6 \text{ m}^3$$

$$V(\text{地覆}) = \frac{\text{表面被覆工より}}{1000} \times \frac{\text{厚さ}}{1000} \text{ (舗装厚10mmを想定)} = 0.1 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 1.7 \text{ m}^3$$

1) 運搬 (タイル)

$$V = 1.7 = 1.7 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 1.7 \text{ m}^3$$

2) 処理 (タイル)

$$W = 1.7 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 4.0 \text{ t}$$

(2) 基層撤去工 (基層)

$$V = 10.1 \text{ (舗装工より)} = 10.1 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 10.1 \text{ m}^3$$

1) 運搬

$$V = 10.1 \qquad = 10.1 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 10.1 \text{ m}^3$$

2) 処理

$$W = \frac{V}{\text{t/m}^3} = 10.1 \times 2.35 = 23.7 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 23.7 \text{ t}$$

仮設工

足場工

(1) 吊足場

1) 吊足場

$$A = 29.1 \text{ (CAD計測より)} \qquad = 29.1 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 29.1 \text{ m}^2$$

2) シート保護工

$$A = 29.1 \text{ (CAD計測より)} \qquad = 29.1 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 29.1 \text{ m}^2$$

(2) 枠組足場

P5橋脚	A =	B	×	h	×	箇所数	=	7.1 掛m ²
		0.71		4.99		2		
P6-1橋脚	A =	B	×	h	×	箇所数	=	6.8 掛m ²
		0.71		4.82		2		
P6-2橋脚	A =	B	×	h	×	箇所数	=	6.8 掛m ²
		0.71		4.82		2		
<hr/>								$\Sigma A = 20.7 \text{ 掛m}^2$

橋梁補修工

橋梁塗装工

$$\text{蹴上} \quad A = \frac{W}{4.00} \times \frac{h}{6.15} = 24.60 \text{ m}^2$$

名称	単位	外面塗装 (A)	内面塗装 (B)	合計	適要
階段(表面)	m ²	24.60	-	24.60	
階段(裏面)	m ²	372.91	-	372.91	
P7橋脚	m ²	3.87	-	3.87	
合計	m ²	401.38	-	401.38	

表 Rc - II 塗装系 (はけ、ローラー) : 外面塗装

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	2種ケレン		4時間以内
下塗り	有機ジンクリッチペイント	(240)	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	140	1日～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	120	1日～10日

鋼道路橋防食便覧 (平成26年3月) II-118より

表面被覆工 (塗装工法)

$$L = 18.26 + 18.46 = 36.7 \text{ m}$$

$$A = 36.70 \times \frac{W}{0.250} = 9.2 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 9.2 \text{ m}^2$$

目地工

$$W=20\text{mm} \quad L = 18.26 + 18.46 = 36.7 \text{ m}$$

$$\Sigma L (W=20\text{mm}) = 36.7 \text{ m}$$

$$W=15\text{mm} \quad L = 18.26 + 18.46 = 36.7 \text{ m}$$

$$W=15\text{mm} \quad L = 36.70 / 2.00 \times 0.50 = 9.2 \text{ m}$$

$$\Sigma L (W=15\text{mm}) = 45.9 \text{ m}$$

橋面工

防水工

(1) 素地調整工

$$\text{踏面} \quad A = 73.6 \quad (\text{CAD計測より}) \quad = 73.6 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 73.6 \text{ m}^2$$

(2) 防水工

$$\text{踏面} \quad A = 73.6 \quad (\text{CAD計測より}) \quad = 73.6 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 73.6 \text{ m}^2$$

舗装工

通路部舗装工

(1) 基層工

1) 数量表

$$A = 17.20 \quad (\text{CAD計測より}) \quad = 17.2 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 17.2 \text{ m}^2$$

2) 体積(平均厚70mmと想定)

$$V = \frac{\Sigma A}{\text{厚さ}} = 17.2 \times 0.07 = 1.2 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 1.2 \text{ m}^3$$

(2) 表層工

$$A = 17.20 \quad (\text{CAD計測より}) \quad = 17.2 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 17.2 \text{ m}^2$$

階段部舗装工

(3) ノンスリップタイル工

$$\text{踏面(C型)} \quad A = \frac{B}{\text{厚さ}} \times W = 12.30 \times 4.00 = 49.2 \text{ m}^2$$

$$\text{踊り場(L型)} \quad A = \frac{B}{\text{厚さ}} \times W = 0.90 \times 4.00 = 3.6 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 52.8 \text{ m}^2$$

撤去工

(1) 舗装撤去工 (タイル)

$$V(\text{通路}) = 17.2 \times \begin{matrix} \text{厚さ} \\ 0.010 \end{matrix} \quad (\text{舗装厚10mmを想定}) = 0.2 \text{ m}^3$$

$$V(\text{地覆}) = \begin{matrix} \text{表面被覆工より} \\ 9.2 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{厚さ} \\ 0.010 \end{matrix} \quad (\text{舗装厚10mmを想定}) = 0.1 \text{ m}^3$$

$$V(\text{階段}) = (\begin{matrix} \text{踏面・踊り場} \\ 52.8 \end{matrix} + \begin{matrix} \text{蹴上} \\ 24.6 \end{matrix}) \times \begin{matrix} \text{厚さ} \\ 0.010 \end{matrix} \quad (\text{舗装厚10mmを想定}) = 0.8 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 1.1 \text{ m}^3$$

1) 運搬 (タイル)

$$V = 1.1 = 1.1 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 1.1 \text{ m}^3$$

2) 処理 (タイル)

$$W = \begin{matrix} V \\ 1.1 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{t/m}^3 \\ 2.35 \end{matrix} = 2.6 \text{ t}$$

(2) 基層撤去工 (基層)

$$V = 1.2 \quad (\text{舗装工より}) = 1.2 \text{ m}^3$$

$$V = \begin{matrix} \text{踏面・踊り場} \\ 52.8 \end{matrix} \times 0.015 \quad (\text{ノンスリップタイル厚さ考慮t=25mm}) = 0.8 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 2.0 \text{ m}^3$$

1) 運搬

$$V = 2.0 = 2.0 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 2.0 \text{ m}^3$$

2) 処理

$$W = \begin{matrix} V \\ 2.0 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{t/m}^3 \\ 2.35 \end{matrix} = 4.7 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 4.7 \text{ t}$$

パネル撤去工

化粧パネル撤去工

(1)面積

$$A = 82.8 \quad (\text{CAD計測より}) \quad = 82.8 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 82.8 \text{ m}^2$$

(2)鋼材重量

1)鋼材

名 称		単位	重量	適 要
鋼材	PL-6	kg	21	
	L-75×75×6	kg	74	
	L-65×65×6	kg	559	
	L-50×50×6	kg	83	
	L-40×40×3	kg	246	
合 計		kg	983	

2)アルミ

名 称		単位	重量	適 要
アルミ	PL-3	kg	1015	
合 計		kg	1015	

ガス切断工

(1)ガス切断長(部材毎)

$$\text{PL-6} \times 100 \quad L = 0.10 \quad = 0.10 \text{ m}$$

$$\text{L-75} \times 70 \quad L = 0.07 + 0.07 \quad = 0.14 \text{ m}$$

$$\text{L-75} \times 350 \quad L = 0.23 + 0.23 \quad = 0.46 \text{ m}$$

(2)ガス切断長

$$\text{PL-6} \times 100 \quad L = 0.10 \quad \times \quad \begin{array}{l} \text{箇所数} \\ 44 \end{array} \quad = 4.4 \text{ m}$$

$$\text{L-75} \times 70 \quad L = 0.14 \quad \times \quad \begin{array}{l} \text{箇所数} \\ 44 \end{array} \quad = 6.2 \text{ m}$$

$$\text{L-75} \times 350 \quad L = 0.46 \quad \times \quad \begin{array}{l} \text{箇所数} \\ 22 \end{array} \quad = 10.1 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 20.7 \text{ m}$$

運搬処理工 (鋼材)

1) 運搬量

$$W = 1.0 \qquad \qquad \qquad = 1.0 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 1.0 \text{ t}$$

2) 処理量

$$W = 1.0 \qquad \qquad \qquad = 1.0 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 1.0 \text{ t}$$

(3) アルミ

1) 運搬量

$$W = 1.0 \qquad \qquad \qquad = 1.0 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 1.0 \text{ t}$$

2) 処理量

$$W = 1.0 \qquad \qquad \qquad = 1.0 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 1.0 \text{ t}$$

仮設工

足場工

1) 吊足場

$$A = 58.5 \quad (\text{CAD計測より}) \qquad \qquad \qquad = 58.5 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 58.5 \text{ m}^2$$

2) シート保護工

$$A = 58.5 \quad (\text{CAD計測より}) \qquad \qquad \qquad = 58.5 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 58.5 \text{ m}^2$$

(2) 枠組足場

$$\text{P7橋脚} \quad A = \frac{B}{0.51} \times \frac{h}{2.47} \times \text{箇所数} \qquad \qquad \qquad = 2.5 \text{ 掛m}^2$$

$$\Sigma A = 2.5 \text{ 掛m}^2$$

橋梁補修工

橋梁塗装工

$$\text{蹴上} \quad A = \frac{W}{2.25} \times \frac{h}{5.25} = 11.81 \text{ m}^2$$

名 称	単位	外面塗装 (A)	内面塗装 (B)	合 計	適 要
階 段 (表 面)	m ²	11.81	-	11.81	
階 段 (裏 面)	m ²	249.77	-	249.77	
P8橋脚	m ²	3.46	-	3.46	
合 計	m ²	265.04	-	265.04	

表 Rc - II 塗装系 (はけ、ローラー) : 外面塗装

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	2種ケレン		4時間以内
下塗り	有機ジンクリッチペイント	(240)	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	140	1日～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	120	1日～10日

鋼道路橋防食便覧 (平成26年3月) II-118より

表面被覆工 (塗装工法)

$$L = 23.79 + 20.86 = 44.7 \text{ m}$$

$$A = 44.70 \times \frac{W}{0.250} = 11.2 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 11.2 \text{ m}^2$$

補修工 (目地工)

$$W=20\text{mm} \quad L = 23.79 + 20.86 = 44.7 \text{ m}$$

$$\Sigma L (W=20\text{mm}) = 44.7 \text{ m}$$

$$W=15\text{mm} \quad L = 23.79 + 20.86 = 44.7 \text{ m}$$

$$W=15\text{mm} \quad L = 44.70 / 2.00 \times 0.50 = 11.2 \text{ m}$$

$$\Sigma L (W=15\text{mm}) = 55.9 \text{ m}$$

橋面工

防水工

(1) 素地調整工

$$\text{踏面} \quad A = 50.0 \quad (\text{CAD計測より}) \quad = 50.0 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 50.0 \text{ m}^2$$

(2) 防水工

$$\text{踏面} \quad A = 50.0 \quad (\text{CAD計測より}) \quad = 50.0 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 50.0 \text{ m}^2$$

舗装工

通路部舗装工

(1) 基層工

1) 数量表

$$A = 19.84 \quad (\text{CAD計測より}) \quad = 19.8 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 19.8 \text{ m}^2$$

2) 体積(平均厚70mmと想定)

$$V = \frac{\Sigma A}{\text{厚さ}} \times \text{厚さ} = 1.4 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 1.4 \text{ m}^3$$

(2) 表層工

$$A = 19.84 \quad (\text{CAD計測より}) \quad = 19.8 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 19.8 \text{ m}^2$$

階段部舗装工

(3) ノンスリップタイル工

踏面(C型)	A =	23.0	(CAD計測より)	=	23.0 m ²
踊り場(L型)	A =	2.8	(CAD計測より)	=	2.8 m ²
					ΣA = 25.8 m ²

撤去工

(1) 舗装撤去工 (タイル)

V(通路)	=	19.8	×	高さ 0.010	(舗装厚10mmを想定)	=	0.2 m ³
V(地覆)	=	11.2	×	表面被覆工より 高さ 0.010	(舗装厚10mmを想定)	=	0.1 m ³
V(階段)	=	(踏面・踊り場 25.8 + 11.8)	×	蹴上 0.010	高さ (舗装厚10mmを想定)	=	0.4 m ³
							ΣV = 0.7 m ³

1) 運搬 (タイル)

V	=	0.7	=	0.7 m ³
				ΣV = 0.7 m ³

2) 処理 (タイル)

W	=	V	×	t/m ³ 2.35	=	1.6 t
---	---	---	---	--------------------------	---	-------

(2) 基層撤去工 (基層)

V	=	1.4	(舗装工より)	=	1.4 m ³		
V	=	踏面・踊り場 25.8	×	0.015	(ノンスリップタイル厚さ考慮t=25mm)	=	0.4 m ³
							ΣV = 1.8 m ³

1) 運搬

V	=	1.8	=	1.8 m ³
				ΣV = 1.8 m ³

2) 処理

W	=	V	×	t/m ³ 2.35	=	4.2 t
						ΣW = 4.2 t

パネル撤去工

化粧パネル撤去工

(1)面積

$$A = 61.2 \quad (\text{CAD計測より}) \quad = 61.2 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 61.2 \text{ m}^2$$

(2)鋼材重量

1)鋼材

名 称		単位	重量	適 要
鋼材	PL-6	kg	25	
	L-75×75×6	kg	26	
	L-65×65×6	kg	443	
	L-50×50×6	kg	75	
	L-40×40×3	kg	259	
合 計		kg	828	

2)アルミ

名 称		単位	重量	適 要
アルミ	PL-3	kg	827	
合 計		kg	827	

ガス切断工

(1)ガス切断長(部材毎)

$$\text{PL-6} \times 100 \quad L = 0.10 \quad = 0.10 \text{ m}$$

$$\text{L-75} \times 70 \quad L = 0.07 + 0.07 \quad = 0.14 \text{ m}$$

(2)ガス切断長

$$\text{PL-6} \times 100 \quad L = 0.10 \quad \times \quad \begin{matrix} \text{箇所数} \\ 54 \end{matrix} \quad = 5.4 \text{ m}$$

$$\text{L-75} \times 70 \quad L = 0.14 \quad \times \quad \begin{matrix} \text{箇所数} \\ 54 \end{matrix} \quad = 7.6 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 13.0 \text{ m}$$

運搬処理工 (鋼材)

1) 運搬量

$$W = 0.8 \qquad \qquad \qquad = 0.8 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 0.8 \text{ t}$$

2) 処理量

$$W = 0.8 \qquad \qquad \qquad = 0.8 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 0.8 \text{ t}$$

(3) アルミ

1) 運搬量

$$W = 0.8 \qquad \qquad \qquad = 0.8 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 0.8 \text{ t}$$

2) 処理量

$$W = 0.8 \qquad \qquad \qquad = 0.8 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 0.8 \text{ t}$$

仮設工

足場工

1) 吊足場

$$A = 48.4 \quad (\text{CAD計測より}) \qquad \qquad \qquad = 48.4 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 48.4 \text{ m}^2$$

2) シート保護工

$$A = 48.4 \quad (\text{CAD計測より}) \qquad \qquad \qquad = 48.4 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 48.4 \text{ m}^2$$

(2) 枠組足場

$$\text{P8橋脚} \quad A = 0.51 \times B \times 2.23 \times \text{箇所数} \qquad \qquad \qquad = 2.3 \text{ 掛m}^2$$

$$\Sigma A = 2.3 \text{ 掛m}^2$$

橋梁補修工

橋梁塗装工

$$\text{蹴上} \quad A = \frac{W}{2.25} \times \frac{h}{5.25} = 11.81 \text{ m}^2$$

名称	単位	外面塗装 (A)	内面塗装 (B)	合計	適要
階段(表面)	m ²	11.81	-	11.81	
階段(裏面)	m ²	88.28	-	88.28	
合計	m ²	100.09	-	100.09	

表 Rc - II 塗装系 (はけ、ローラー) : 外面塗装

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	2種ケレン		4時間以内
下塗り	有機ジンクリッチペイント	(240)	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	140	1日～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	120	1日～10日

鋼道路橋防食便覧 (平成26年3月) II-118より

表面被覆工 (塗装工法)

$$L = 11.50 + 11.50 = 23.0 \text{ m}$$

$$A = 23.00 \times \frac{W}{0.250} = 5.8 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 5.8 \text{ m}^2$$

補修工 (断面修復工)

1) 数量表

部位	部材	損傷 番号	損傷状況	幅 (m)	長さ (m)	面積 (m ²)	備考
階段	-	1	うき	0.02	0.30	0.006	
損傷面積 $\Sigma A =$						0.006 m ²	

2) 体積(深さ30mmと想定)

$$V = \Sigma A \times \text{深さ} = 0.006 \times 0.03 = 0.001 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.001 \text{ m}^3$$

補修工 (目地工)

$$W=20\text{mm} \quad L = 11.50 + 11.50 = 23.0 \text{ m}$$

$$\Sigma L (W=20\text{mm}) = 23.0 \text{ m}$$

$$W=15\text{mm} \quad L = 11.50 + 11.50 = 23.0 \text{ m}$$

$$W=15\text{mm} \quad L = 23.00 / 2.00 \times 0.50 = 5.8 \text{ m}$$

$$\Sigma L (W=15\text{mm}) = 28.8 \text{ m}$$

橋面工

防水工

(1) 素地調整工

$$\text{踏面} \quad A = \frac{B}{11.40} \times \frac{W}{2.25} = 25.7 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 25.7 \text{ m}^2$$

(2) 防水工

$$\text{踏面} \quad A = \frac{B}{11.40} \times \frac{W}{2.25} = 25.7 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 25.7 \text{ m}^2$$

舗装工

階段部舗装工

(1) ノンスリップタイル工

$$\text{踏面(C型)} \quad A = \frac{B}{10.20} \times \frac{W}{2.25} = 23.0 \text{ m}^2$$

$$\text{踊り場(L型)} \quad A = \frac{B}{1.20} \times \frac{W}{2.25} = 2.7 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 25.7 \text{ m}^2$$

撤去工

(1) 舗装撤去工 (タイル)

$$V(\text{地覆}) = \overset{\text{表面被覆工より}}{5.8} \times \overset{\text{厚さ}}{0.010} \quad (\text{舗装厚10mmを想定}) = 0.1 \text{ m}^3$$

$$V(\text{階段}) = (\overset{\text{踏面・踊り場}}{25.7} + \overset{\text{蹴上}}{11.8}) \times \overset{\text{厚さ}}{0.010} \quad (\text{舗装厚10mmを想定}) = 0.4 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.5 \text{ m}^3$$

1) 運搬 (タイル)

$$V = 0.5 = 0.5 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.5 \text{ m}^3$$

2) 処理 (タイル)

$$W = \overset{V}{0.5} \times \overset{t/m^3}{2.35} = 1.2 \text{ t}$$

(2) 基層撤去工 (基層)

$$V = \overset{\text{踏面・踊り場}}{25.7} \times 0.015 \quad (\text{ノンスリップタイル厚さ考慮}t=25\text{mm}) = 0.4 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.4 \text{ m}^3$$

1) 運搬

$$V = 0.4 = 0.4 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.4 \text{ m}^3$$

2) 処理

$$W = \overset{V}{0.4} \times \overset{t/m^3}{2.35} = 0.9 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 0.9 \text{ t}$$

化粧パネル撤去工

(1) 面積

$$A = \overset{B}{11.40} \times \overset{W}{2.65} = 30.2 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 30.2 \text{ m}^2$$

(2) 鋼材重量

1) 鋼材

名 称		単位	重量	適 要
鋼材	PL-6	kg	13	
	L-75×75×6	kg	13	
	L-65×65×6	kg	225	
	L-50×50×6	kg	39	
	L-40×40×3	kg	139	
合 計		kg	429	

2) アルミ

名 称		単位	重量	適 要
アルミ	PL-3	kg	429	
合 計		kg	429	

ガス切断工

(1) ガス切断長(部材毎)

$$PL-6 \times 100 \quad L = 0.10 \quad = 0.10 \text{ m}$$

$$L-75 \times 70 \quad L = 0.07 + 0.07 \quad = 0.14 \text{ m}$$

(2) ガス切断長

$$PL-6 \times 100 \quad L = 0.10 \quad \times \quad \begin{matrix} \text{箇所数} \\ 28 \end{matrix} \quad = 2.8 \text{ m}$$

$$L-75 \times 70 \quad L = 0.14 \quad \times \quad \begin{matrix} \text{箇所数} \\ 28 \end{matrix} \quad = 3.9 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 6.7 \text{ m}$$

運搬処理工（鋼材）

1) 運搬量

$$W = 0.4 \qquad \qquad \qquad = 0.4 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 0.4 \text{ t}$$

2) 処理量

$$W = 0.4 \qquad \qquad \qquad = 0.4 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 0.4 \text{ t}$$

(3) アルミ

1) 運搬量

$$W = 0.4 \qquad \qquad \qquad = 0.4 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 0.4 \text{ t}$$

2) 処理量

$$W = 0.4 \qquad \qquad \qquad = 0.4 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 0.4 \text{ t}$$

仮設工

足場工

1) 吊足場

$$A = \frac{B}{6.81} \times \frac{W}{2.65} \qquad \qquad \qquad = 18.0 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 18.0 \text{ m}^2$$

2) シート保護工

$$A = \frac{B}{6.81} \times \frac{W}{2.65} \qquad \qquad \qquad = 18.0 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 18.0 \text{ m}^2$$

鉛対策工

防塵対策施設

1式

名称	単位	合計	適要
負圧集塵機	台・月	1.6	2台×0.8ヶ月=1.6台・月
負圧集塵機用1次フィルター	枚	36.0	2台×22日×0.8ヶ月=35.2枚
負圧集塵機用2次フィルター	枚	7.0	2台×4回×0.8ヶ月=6.4枚
負圧集塵機用チャコールフィルター	枚	2.0	3か月1枚使用/台
負圧集塵機用HEPAフィルター	枚	2.0	3か月1枚使用/台
粉塵清掃用クリーナー（真空掃除機）	台・月	1.6	2台×0.8ヶ月=1.6台・月
粉塵清掃用クリーナー用1次フィルター	枚	7.0	2台×4回×0.8ヶ月=6.4枚
粉塵清掃用クリーナー用2次フィルター	枚	2.0	3ヶ月1枚使用/台
粉塵清掃用クリーナー用チャコールフィルター	枚	2.0	3ヶ月1枚使用/台
粉塵清掃用クリーナー用HEPAフィルター	枚	2.0	3ヶ月1枚使用/台
クリーンルーム	台	1.0	1台
エアシャワー	台・月	0.8	1台×0.8ヶ月=0.8台・月
エアシャワー用1次フィルター	枚	4.0	1台×0.8ヶ月×4回=3.2枚
エアシャワー用チャコールフィルター	枚	1.0	1台×1枚=1枚
エアシャワー用HEPAフィルター	枚	1.0	3か月1枚使用/台

※ 2種ケレン施工日数 58日/m²素地調整面積 852.0 / 58m²/日 = 14.7 日

供用日数

14.7 × 1.71 = 25.1 日 25.1 / 30 = 0.8ヶ月

運搬・処分工

1式

(1) 旧塗膜運搬費（汚泥）

W = 0.247 t

(2) 防護服等運搬費（廃プラ）

W = 0.374 t

(3) 旧塗膜処分費（汚泥）

※特別管理産業廃棄物に該当しない

W = 0.196 m³

(4) 防護服等処分費（廃プラ）

※特別管理産業廃棄物に該当しない

W = 0.340 m³

共通仮設費

安全費

1式

(1) 呼吸用防護具等費用

名称	単位	合計	適要
電動ファン付呼吸用保護具	個	8	全面型面体
呼吸用保護具用フィルタ（1人1日4個使用）	個	480	
使い捨て全身化学防護服（1人1日4着使用）	着	480	
化学防護手袋（1人1日4組使用）	組	480	
シューズカバー（1人1日4足使用）	足	480	

※日当たり標準作業員数8人/日

付帯工

付帯工

(1) 場内小運搬 (人力運搬、平均運搬距離41.7m)

付帯工参考図より

$$\text{場内小運搬 } L = 83.29 \div \frac{\text{平均運搬距離}}{2} = 41.6 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 41.6 \text{ m}$$

$$\text{運搬量 } V = 56.20 \text{ (数量総括表 (運搬処理工より))} = 56.2 \text{ m}^3$$

$$\Sigma v = 56.2 \text{ m}^3$$

(2) 場外搬出

$$\text{搬出重量 } w = 116.80 \text{ (数量総括表 (撤去工1~5径間より))} = 116.8 \text{ t}$$

$$\Sigma w = 116.8 \text{ t}$$

(3) 材料費 (大型土のう)

$$\text{搬出重量 } t = 116.80 \div \frac{\text{土のう1袋当たり0.8t}}{0.80} = 146.0 \text{ 袋}$$

$$\Sigma t = 146 \text{ 袋}$$

(4) 仮囲い設置・撤去

付帯工参考図より

$$\text{延長 } L = 93.29 \times 2\text{回} = 187.0 \text{ m}$$

(5) 資機材荷揚

※ 1回あたり作業時間を2時間と想定

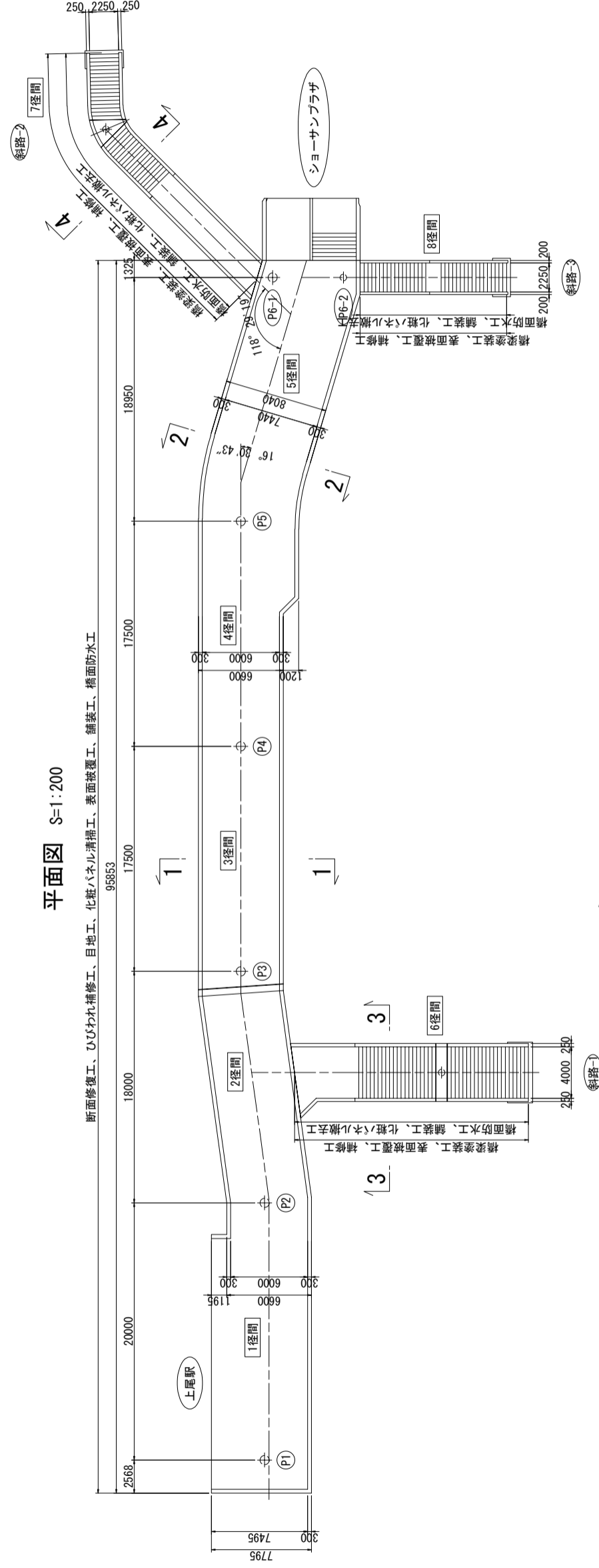
$$\text{日数 } N = \frac{\text{日当施工日数}}{15\text{日}} = 7 \text{ 日}$$

(6) 仮設点字マット設置・撤去工

$$L = 93.29 \times 2\text{回} = 187.0 \text{ m}$$

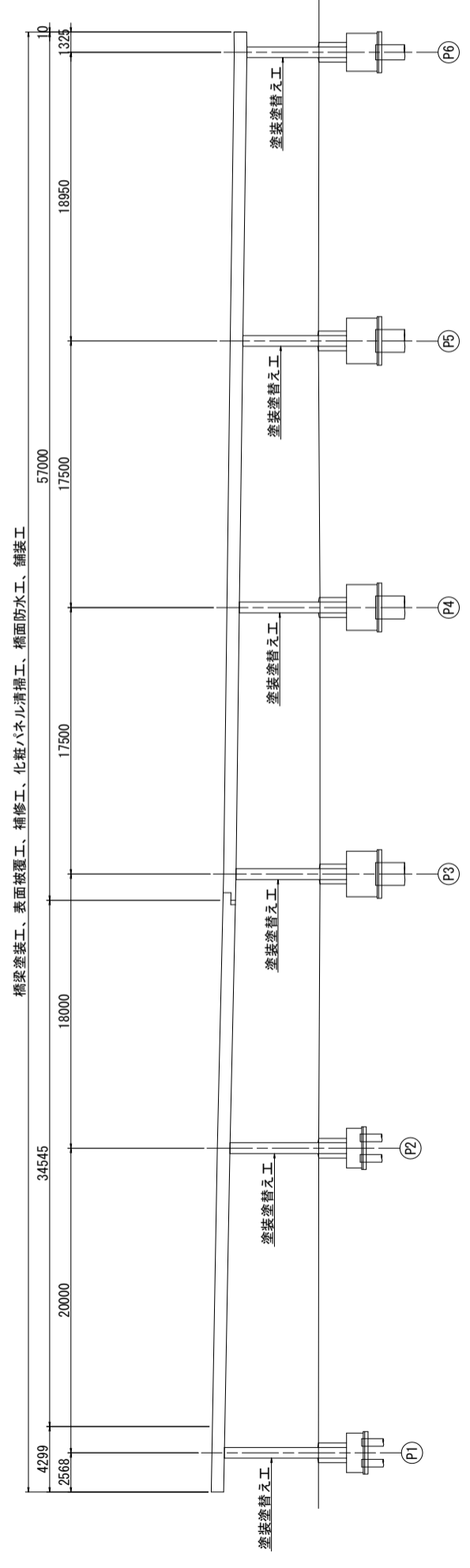
(7) 音声案内設置 = 5 基

補修一般図(その1)



平面図 S=1:200

側面図 S=1:200



橋梁塗装工、表面被覆工、補修工、化粧パネル清掃工、橋面防水工、舗装工

数量概要表

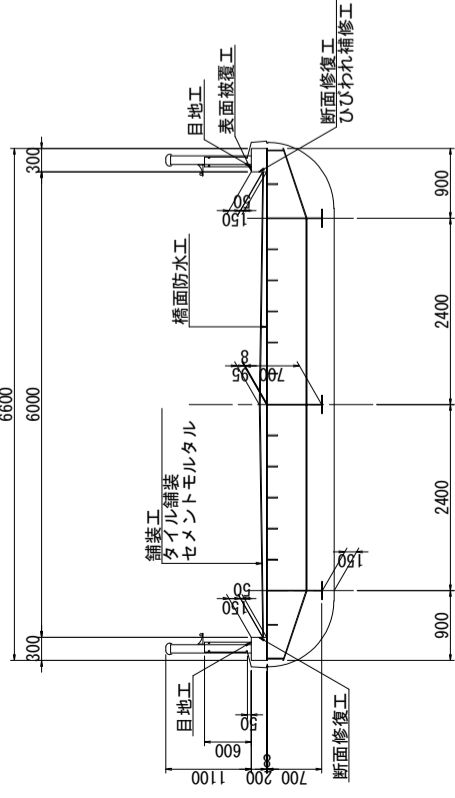
種別	規格	単位	数量	備考
橋梁塗装工	2種ケレン・Rc-II塗装系	m ²	852	橋脚・階段部
表面被覆工	柔軟防水剤付樹脂塗料	m ²	69	下塗り・中塗り・上塗り(3層)
補修工	左置工・低圧注入工法	橋	1	断面修復、ひび割れ、自治体修
化粧パネル清掃工	清掃・水洗い	m ²	223	素地調整、防水処理
防水工	3種ケレン・塗膜系防水	m ²	797	本線・階段部
基層工	セメントモルタル(平均70mm)	m ²	45	通路部・階段部
表層工	外装床タイル300角I類	m ²	647	通路部
点字ブロック工	300×300×10	m ²	45	縁状・点状タイル
ノンスリップタイル工	300×300×25(節面・節溝)	m ²	104	階段部(G・L型)
撤去工	無筋コンクリート55.2cm・アルミ材17mm	式	1	タイル・歩道ブロック・下地・アスファルト
足場工	吊足場(HK1.5m)・枠組足場	橋	1	シート・仮設防護柵
鉛対策工	環境対策資機材	橋	1	特別管理産業廃棄物無
付帯工	Co除害下、資材搬入等	式	1	

年度	令和6年度
工事名	R6 上尾駅西口ペDESTリアンデッキ構修工事
工事箇所	上尾市谷津二丁目地内
図面名	補修一般図(その1)
縮尺	図示
図面番号	1/10
上尾市都市整備部道路河川課	

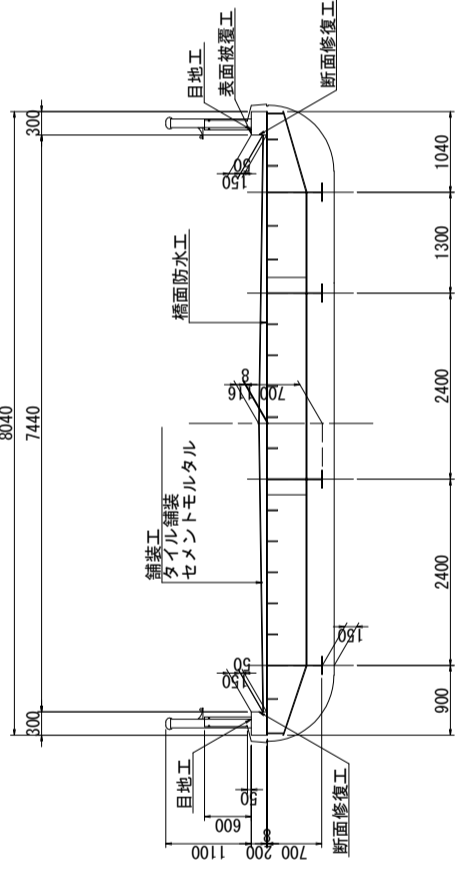
補修一般図(その2)

断面図 S=1:50

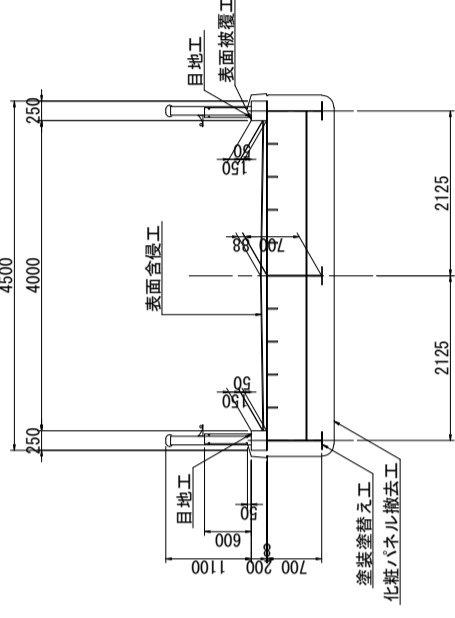
通路部(1-1)



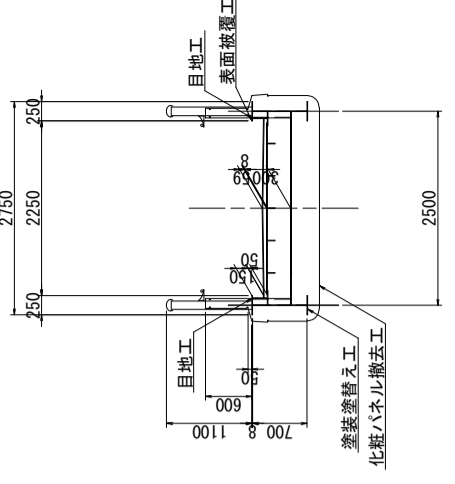
通路部(2-2)



階段部(3-3)

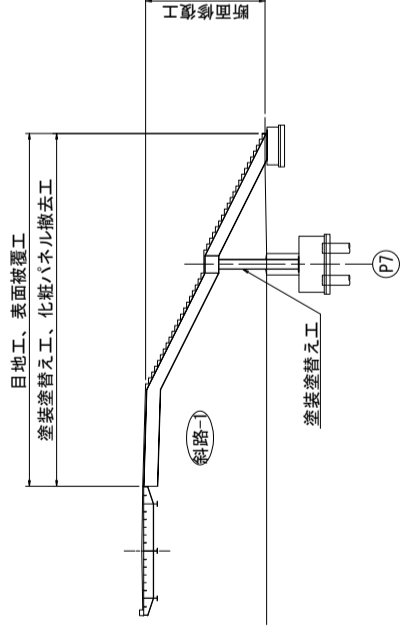


階段部(4-4)

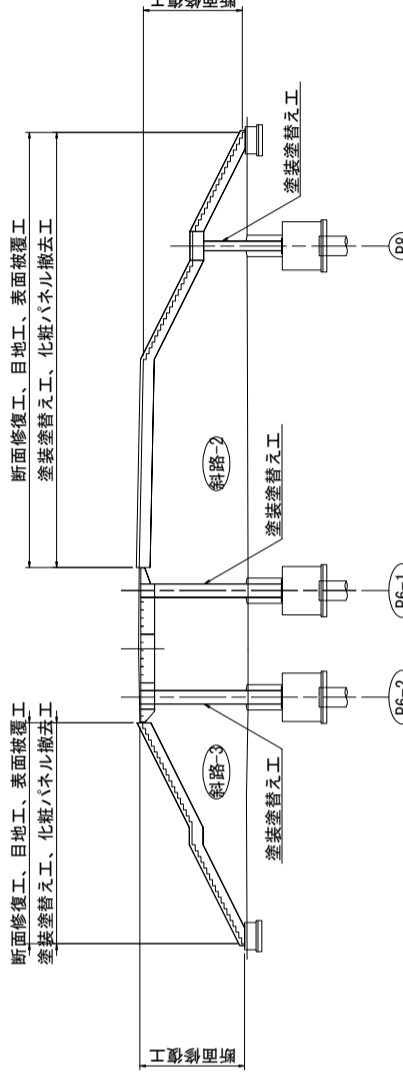


側面図 S=1:200

斜路-1 (B=4.00m)



斜路-2、斜路-3 (B=2.25m)



数量概要表

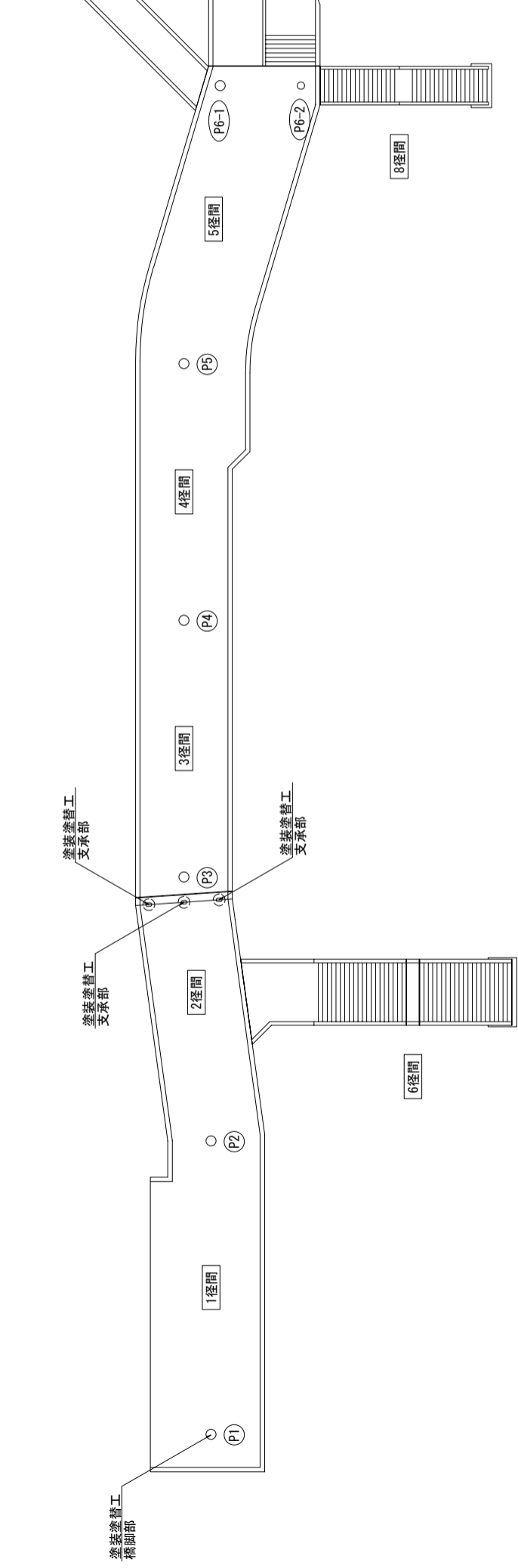
種別	規格	単位	数量	備考
橋梁塗装工	2種ケレン・Rc-II塗装系	m ²	852	橋脚・階段部
表面被覆工	表層工・低圧注入工法	m ²	69	平置り・中置り・上置り (10箇所)
補修工	清掃・水洗い	橋	1	断面修繕、ひび割れ、目地補修
化粧パネル清掃工	3種ケレン・塗膜系防水	m ²	223	素地調整、防水処理
防水工	セメントモルタル (平均70mm)	m ³	797	本線・階段部
基層工	外装床タイル300角I類	m ²	45	通路部・階段部
表層工	300×300×10	m ²	647	通路部
点字ブロック工	300×300×25 (橋面・頭場)	m ²	45	線状・点状タイル
ノンスリップタイル工	無筋コンクリート56.2㎡・アルミ材174㎡	式	104	階段部 (C・L型)
撤去工	吊足機 (吊1.5m)・斜指圧機	式	1	シート・紙張防護者
足場工	環境対策資機材	橋	1	特別管理産業廃棄物照
鉛対策工	C0既設下、資材搬入等	式	1	

年度	令和6年度
工事名	R8 上尾駅西口ペデストリアンデッキ修繕工事
工事箇所	上尾市谷津二丁目地内
図面名	補修一般図(その2)
縮尺	図示
図面番号	2/10
上尾市都市整備部道路河川課	

塗装塗替工図

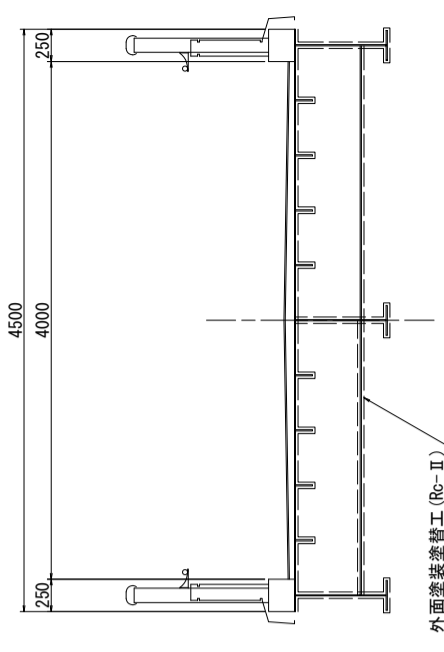
平面図 S=1:200

7径間



階段部断面図 S=1:30

(6径間)



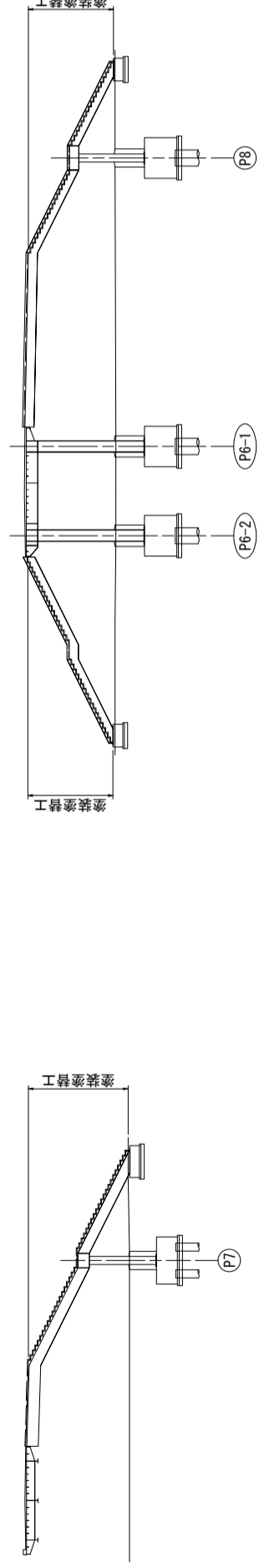
階段蹴上部 S=1:200

6径間

8径間

7径間

(7・8径間)



外面塗装仕様 (Rc-II 塗装系) (はけ、ローラ)

種類	規格	使用量 (g/m ²)
素地調整	2種ケレン (集塵機付き動力工具)	
下塗り	有機ジンクリッチペイント下塗	240
下塗り	有機ジンクリッチペイント下塗	200
下塗り	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	200
下塗り	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	140
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	120
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120

塗装塗替工数量表

種類	規格	細別	単位	数量	備考
橋梁塗装工	Rc-II		m ²	852	(1橋当たり)

※1 各径間毎の数量は数量計算書を参照のこと。

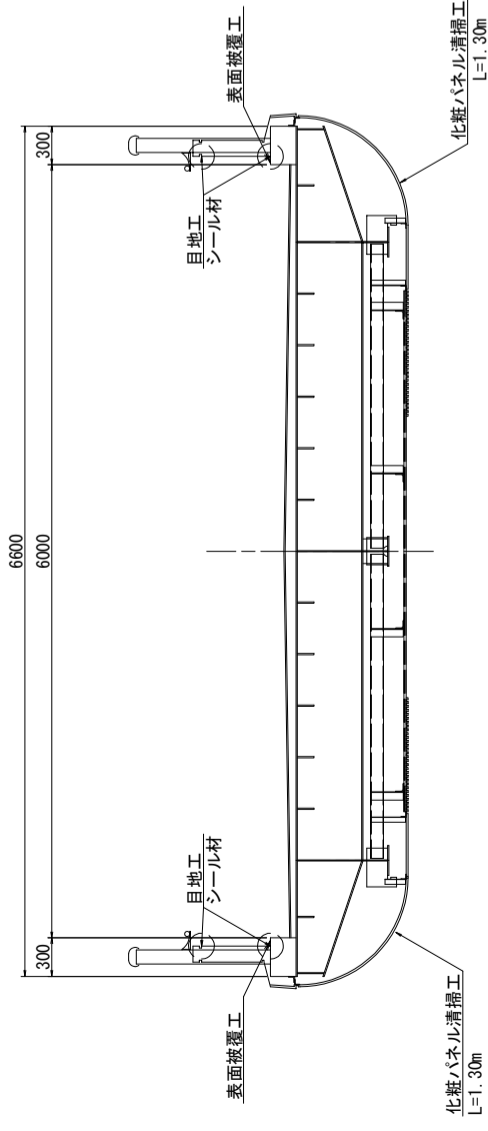
注記
 ・桁外面および橋脚は全て塗替えを行うこと。
 ・工事着手に先立ち現地を再確認すること。

年度	令和6年度
工事名	R6 上尾駅前ロペストリアンデッキ修繕工事
工事箇所	上尾市谷津二丁目地内
図面名	塗装塗替工図
縮尺	図示 図面番号 3/10

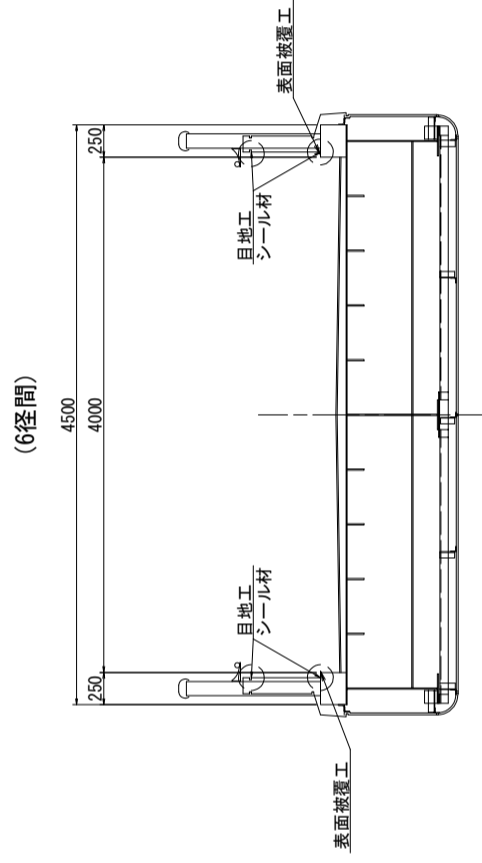
上尾市都市整備部道路河川課

表面被覆工・目地工・化粧パネル清掃工詳細図

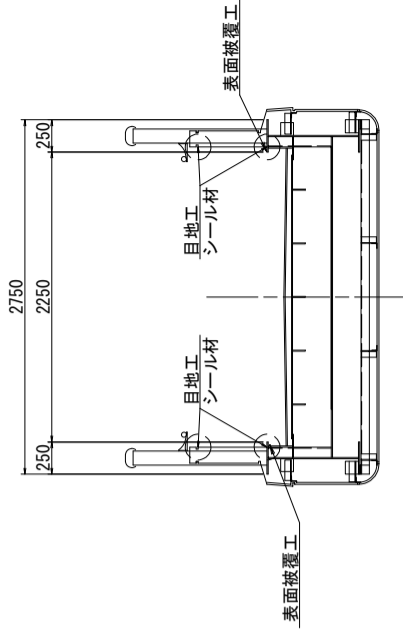
通路部断面図 S=1:30
(1~5径間)



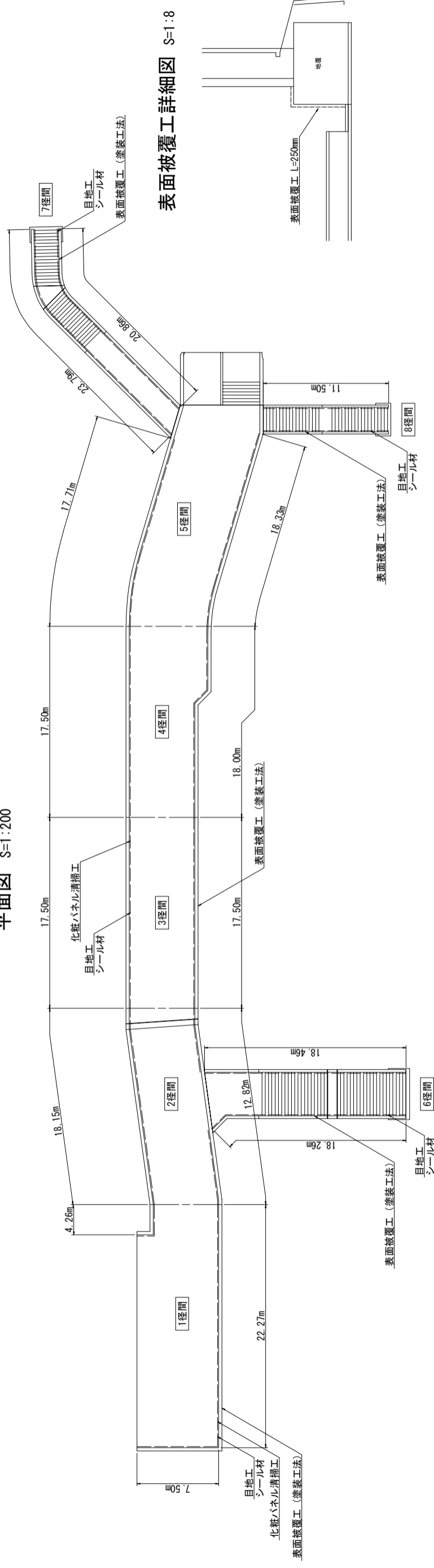
階段部断面図 S=1:30



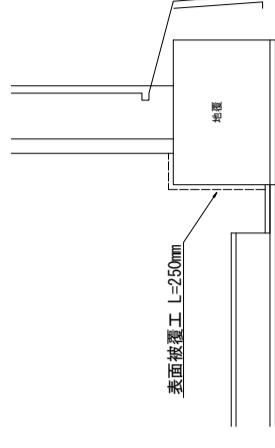
(7・8径間)



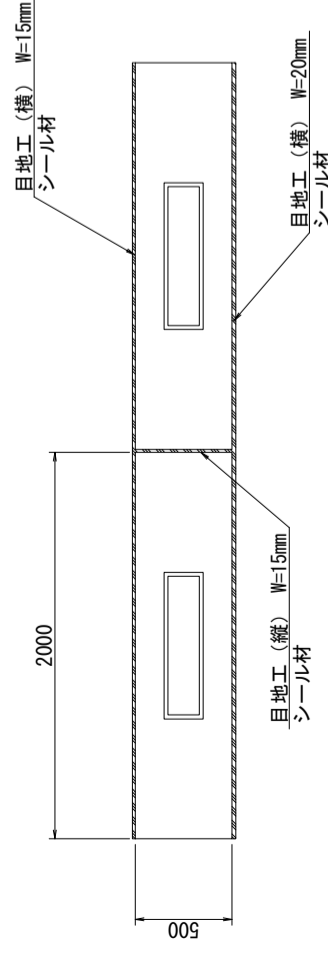
平面図 S=1:200



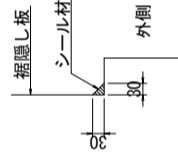
表面被覆工詳細図 S=1:8



目地工一般図 S=1:20



目地工詳細図 S=1:10



コンクリート面への塗装仕様 (CC-B)

種類	規格	使用量 (g/m ²)
下地処理	サンダーケレン・シンナー拭き・ブラシ等	
プライマー	コンクリート塗薬用エポキシ樹脂プライマー	100
下塗り (バテ)	コンクリート塗薬用エポキシ樹脂バテ	300
中塗り	柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	260
上塗り	柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	120

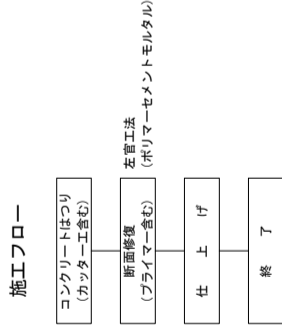
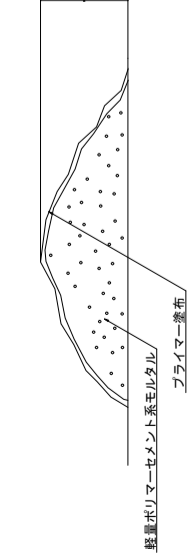
注記
 ・工事着手に先立ち現地を再確認すること。
 ・**---**は径間分けの箇所を示す。
 ・化粧パネル清掃工はウエスによる粉塵、ばい煙等の除去を基本とする。

年度	令和6年度
工事名	№ 上尾駅西口バスターミナル改修工事
工事箇所	上尾市谷津二丁目内
図面名	表面被覆工・目地工・化粧パネル清掃工詳細図
縮尺	図示 図面番号 4/10
上尾市都市整備部道路河川課	

上部工補修図 S=1:200

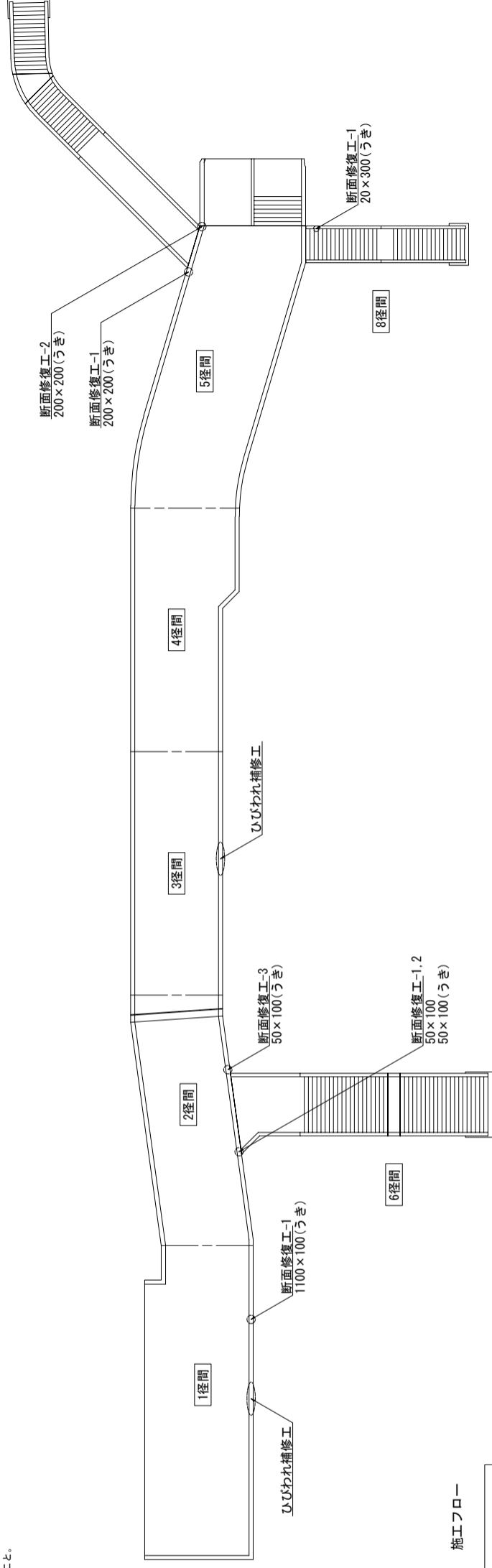
断面修復工詳細図

剥離の場合



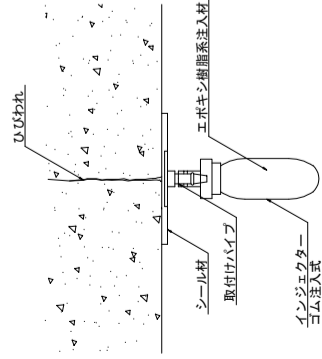
注記
 ・ひびわれ、鉄筋露出、うき、欠損部の各種修繕系、面積については現場にて補修量の上決定すること。
 ・現場施工時に図示以外にも補修箇所があれば、補修を行うこと。
 補修厚については、現場確認後決定すること。

7径間

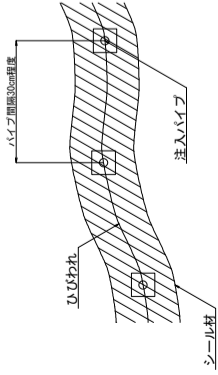
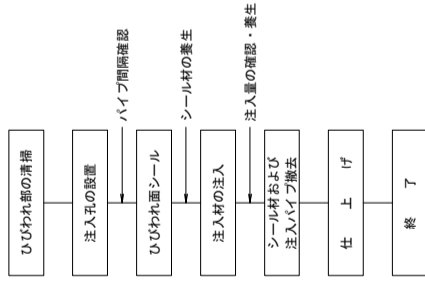


ひびわれ補修工詳細図

低圧注入工法詳細図
 (ひびわれ幅0.2mm以上1.0mm程度以上)



施工フロー



注記

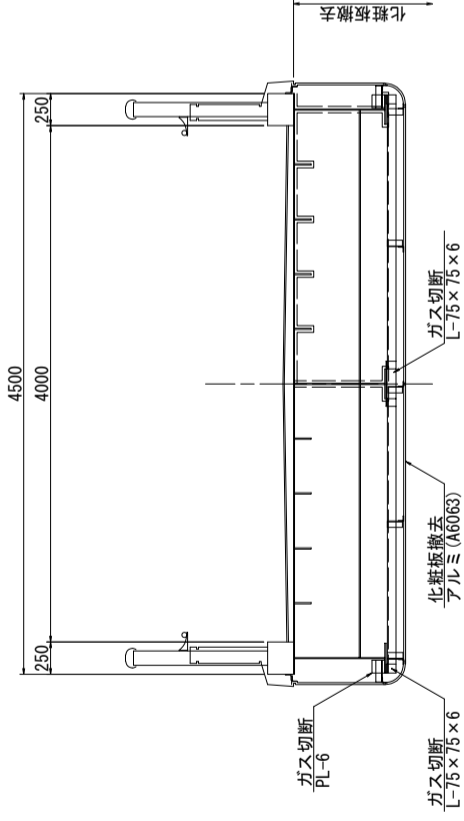
- ・工事着手に先立ち現地を再確認すること。
- ・-----は径間分けの箇所を示す。

年度	令和6年度
工事名	第8 上尾駅前ロペデストリアンデッキ修繕工事
工事箇所	上尾市谷津二丁目地内
図面名	上部工補修図
縮尺	S=1:200
図面番号	5/10
上尾市都市整備部道路河川課	

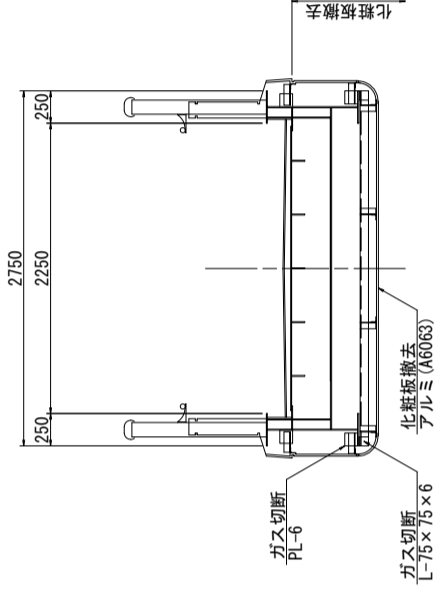
化粧パネル撤去工図

階段部断面図 S=1:30

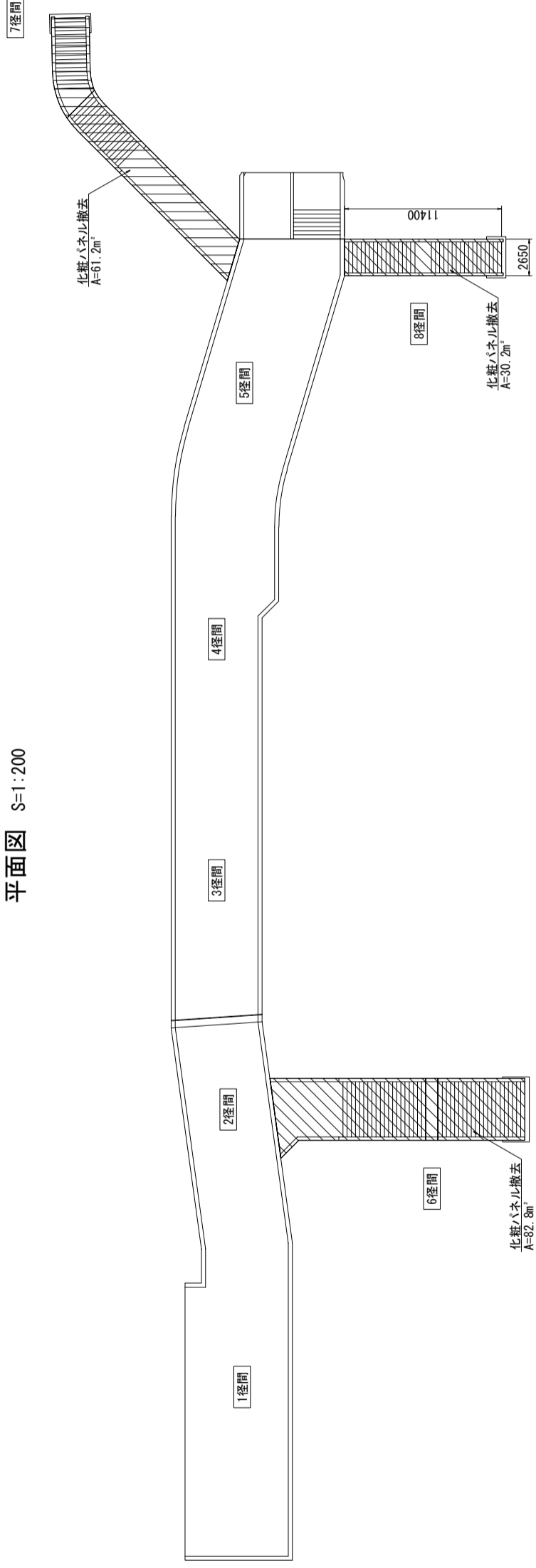
(6径間)



(7・8径間)



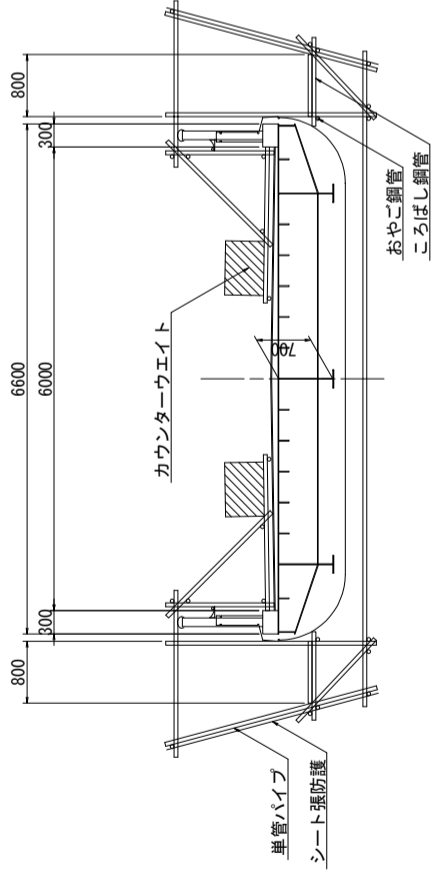
平面図 S=1:200



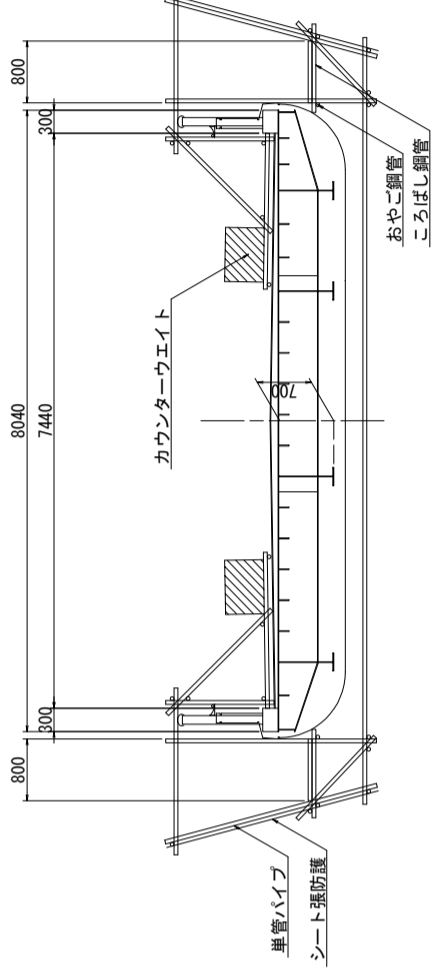
注記
・工事着手に先立ち現地を再確認すること。

年度	令和6年度
工事名	R6 上尾駅西口ペデストリアンデッキ整備工事
工事箇所	上尾市谷津二丁目地内
図面名	化粧パネル撤去工図
縮尺	図示
図面番号	7/10
上尾市都市整備部道路河川課	

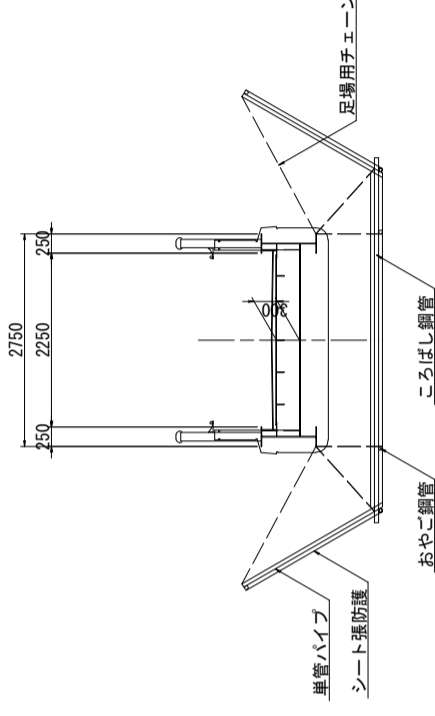
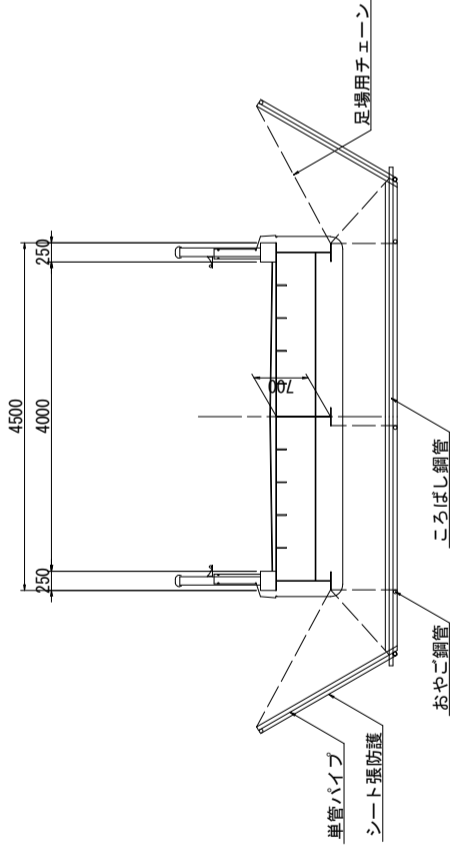
足場工一般図(その2)(参考図)



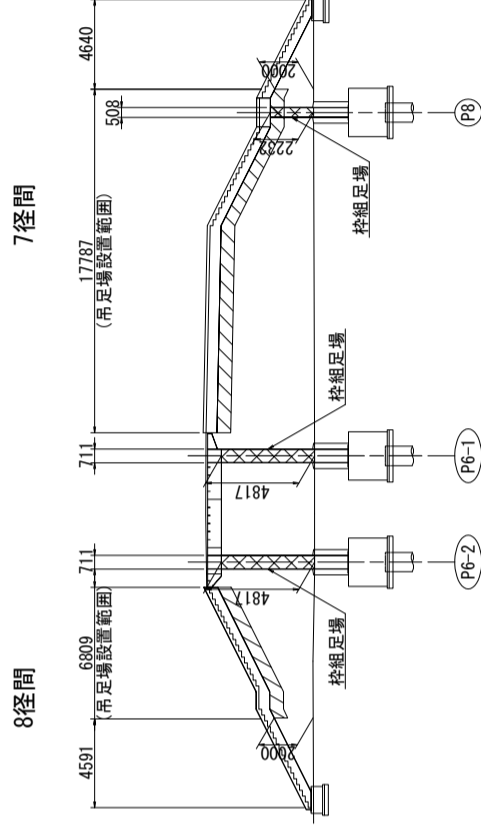
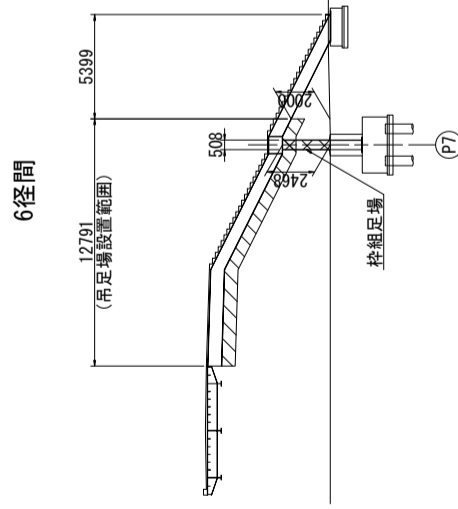
通路部断面図 S=1:50



階段部断面図 S=1:50



側面図 S=1:200



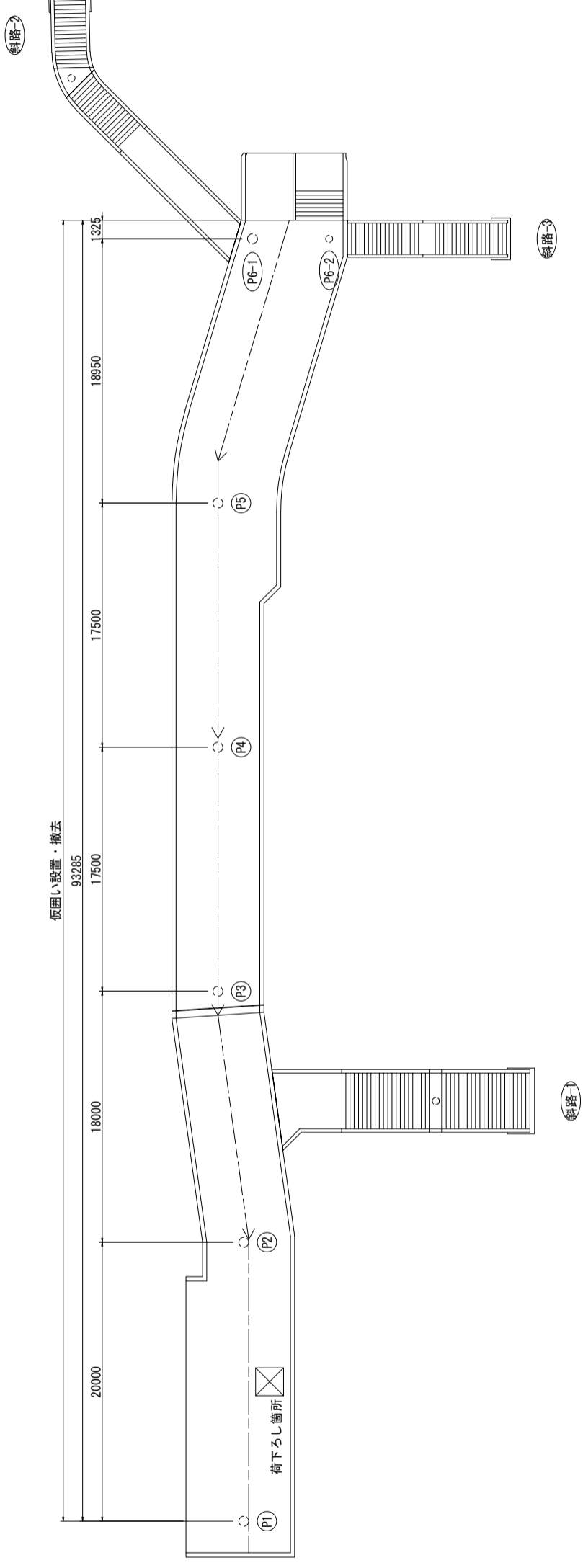
この(参考図)は、契約約款第1条にいう設計図書ではない。
したがって、(参考図)は請負契約上の拘束力を生じるもの
ではなく、請負者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、
仮設、施工方法、安全対策等、工事事務物を完成するための
一切の手段について請負者の責任において定めるものとする。

注記
・上部工は吊足場を基本とする。
・橋脚は枠組足場を基本とする。
・工事着手に先立ち現地を再確認すること。

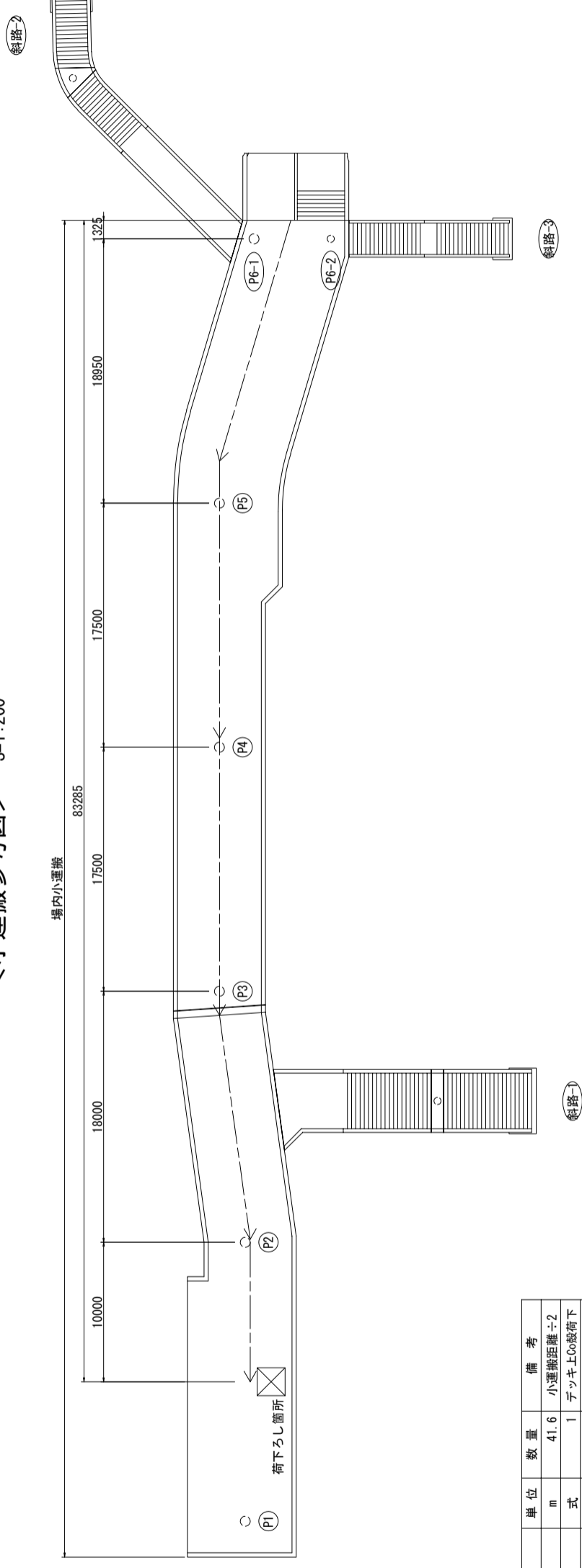
年度	令和6年度
工事名	R6 上尾駅西ロベデストリアンデッキ構想工事
工事箇所	上尾市谷津二丁目地内
図面名	足場工一般図(その2)(参考図)
縮尺	図示 図面番号 9/10
上尾市都市整備部道路河川課	

付帯工参考図

＜仮囲い設置・撤去参考図＞ S=1:200



＜小運搬参考図＞ S=1:200



【付帯工】数量表

種別	規格	単位	数量	備考
場内小運搬		m	41.6	小運搬距離÷2
場外搬出	※想定重量116.8t	式	1	デッキ上Co載荷下
仮囲い設置・撤去		m	187.0	
点字マット設置・撤去工		m	187.0	
音声案内設置		基	5	

注記
 ・仮囲い設置・撤去は半面ずつのタイル
 施工を想定しての仮設である。
 ・場内小運搬は想定施工延長の1/2とする。
 ・点字マット及び音声案内機は支給品とする。

年度	令和6年度		
工事名	R6	上尾駅西口ペデストリアンデッキ補修工事	
工事箇所	上尾市谷津二丁目地内		
図面名	付帯工事図		
縮尺	図示	図面番号	10/10
上尾市都市整備部道路河川課			

R6 上尾駅西口ペDESTロリアンデッキ修繕工事 特記仕様書

第1条 適用範囲

本特記仕様書は、上尾市が実施するR6 上尾駅西口ペDESTロリアンデッキ修繕工事（以下、「本工事」という。）に適用する。

第2条 目的

本工事は、道路法に基づく5年に1度の定期点検結果により判明した損傷箇所について、「上尾市歩道橋長寿命化修繕計画」に基づき、主に予防保全型の維持管理を目的とした修繕工事を行うものである。

第3条 適用基準

本仕様書に記載のない事項については、「埼玉県土木工事共通仕様書」「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」を適用する。

第4条 ゼロ・エミッション工事の推進

工事の施工にあたっては、ゼロエミッション工事の推進に努めることとする。

第5条 CORINS登録

本工事については、CORINS登録すること。

第6条 法定外の労災保険の付保

受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第7条 条件変更時の補足説明

本工事の施工にあたり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは設計図書等に示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりとする。

- (1) 各工種の数量に変更が生じた場合。
- (2) 現場状況、通行規制等により仮設計画及び補修方法、工法等に変更が生じた場合。
- (3) 工事用材料の規格及び品質に変更が生じた場合。
- (4) 関係機関及び第三者との協議により変更が生じた場合。

第8条 建設副産物

受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号。以下「資源有効利用促進法」という。）等の規定により、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」の作成を要する工事については、原則、COBRISでの入力を行い、以下の書類を提出するとともにこれらの記録を保存する。

(1) 施工計画作成時

「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「工事登録証明書」
(COBRISで入力したことの証明)

(2) 工事完了時

「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」及び「工事登録証明書」
(COBRISで入力したことの証明)

- 2 受注者は、工事の施工前に前項第1号に掲げる「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」の内容について、発注者へ説明しなければならない。
- 3 受注者は前項の説明を実施した後、当該計画を公衆の見えやすい場所へ掲示するものとする。
- 4 受注者は、施工計画書に建設廃棄物の処理計画を添付するものとする。なお、建設廃棄物の処分にあたり、排出事業者は処分業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、同契約書の写しを処理計画に添付するものとする。
また、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結するものとする。
- 5 排出事業者が建設廃棄物の処理を委託する場合には、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）または電子マニフェストにより管理しなければならない。
ア 紙マニフェストの場合は、建設系廃棄物マニフェストA票、B2票、D票、E票を監督員に提示し、確認を受けるとともに、D票、E票の写しを提出する。また、工事検査時には原本を提示しなければならない。
イ 電子マニフェストの場合は、マニフェスト情報登録証明、受渡確認票を監督員に提示し、確認を受ける。また、工事検査時には受渡確認票及び一覧表を提示しなければならない。
- 6 受注者は、工事の完成後に発注者から請求があったときは、第1項第2号に掲げる「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」に基づき、当該実施状況を報告しなければならない。

第9条 建設廃棄物の再資源化等

受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づいて、特定建設資材廃棄物を再資源化のための施設に搬入する場合は、適切な施設に搬入しなければならない。なお、特定建設資材廃棄物とは、特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリート）が廃棄物となったものである。

- 2 受注者は、契約前に作成した「分別解体等の計画等」を施工計画書に添付して提出するものとする。
- 3 受注者は、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づき、以下の事項等を別紙「再資源化等報告書」に記載し、発注者に報告しなければならない。
 - ・特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了した年月日
 - ・特定建設資材廃棄物の再資源化等をした施設の名称及び所在地
 - ・特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用

また、同条第1項に基づき、特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施状況に関する記録を作成し、保存しなければならない。

なお、資源有効利用促進法等に基づく再生資源利用〔促進〕実施書を作成している場合は、その写しを参考資料として報告に添付するものとする。

4 受注者は、工事の施工に当たっては、「彩の国建設リサイクル実施指針」を遵守し、建設資材廃棄物の再資源化等に努め、廃棄物の減量を図らなければならない。

第10条 再資源の利用

下記の再生資材を、備考欄の部分に利用すること。

資材名	規格	備考
再生アスコン	(13)-50, (20)-50	表層及び基層等
再生粒調砕石	40mm以下	車道路盤等
再生切込砕石	40mm以下	車道及び歩道路盤等
再生砂	細粒分 含有率50%未満	歩道等
再生骨材生コンクリート	L 18-10-20BB	均しコンクリート等

なお、現場から40kmの範囲の再資源化のための施設から供給が困難な場合は、新材への設計変更の対象とする。

第11条 橋梁補修工

本工事の施工管理については、上尾市工事請負契約約款、その他関係法規を遵守すること。

また、埼玉県土木工事実務要覧の仕様書編、施工編についても、埼玉県を上尾市に読み替えて工事の施工管理にあたること。

(1) 現場塗替え塗装

本工事においては、工事に先立って実施した塗膜物質調査の結果、旧塗膜内に各種基準で定められた規定値以上の有害物質を含むため、塗替え塗装の際の素地調整にあたっては、集塵機付き動力工具を使用した2種ケレンにより、旧塗膜の全面剥離を行うものとする。また、鉛作業主任の専任と適切な作業指揮の実施等を行うこと。

①塗膜物質調査の結果については、以下のとおりである。

【含有量試験】

調査箇所	項目	試験結果	定量下限値	判定
階段部	鉛	0.064%	0.06%	検出
	クロム	0.048%	0.03%	検出
	コールタール	25.00%	0.002%	検出
橋脚部	鉛	1.500%	0.06%	検出
	クロム	0.03%未満	0.03%	未検出

・含有量試験の結果より、有害物質が検出されたため、施工にあたっては「鉛等有害物含有する塗料の剥離や書き落とし作業における労働者の健康障害防止について」（平成26年5月30日付基安労発0530第2号及び平成26年5月30日付基安化発0530第2号）により、鉛対策工に記載の対応を実施すること。

【溶出試験】

調査箇所	項目	試験結果	定量下限値	判定
階段部	鉛	0.01未満	0.01mg/L	未検出
	クロム	0.02未満	0.02mg/L	未検出
橋脚部	鉛	0.02	0.01mg/L	検出
	クロム	0.02未満	0.02mg/L	未検出

・溶出試験の結果より、本工事で発生した鉛含有廃棄物は、基準値以下となるため普通産業廃棄物として処分すること。

- ②集じん機の設置等におけるケレンかすの飛散防止対策について、作業員の健康と周辺環境への影響を考慮した上で、施工計画書に明記し、監督員の確認を得てから作業を行うものとする。
- ③動力工具を使用する作業員は、電動ファン付呼吸用保護具、化学防護服、化学防護手袋、及びシューズカバーを着用すること。また、作業後はエアシャワー及びクリーンルームを使用し、ケレンかすを外部に持ち出さないようにすること。また、使用する集塵機、掃除機、呼吸用保護具のフィルター類は適切な時期に交換すること。
- ④現場塗替え塗装については、「鋼道路橋防食便覧（平成26年3月）（社）日本道路協会」に示されるRc-II塗装系とし、塗装回数及び塗装使用量は下記のとおりとする。

表 Rc-II塗装系（はけ、ローラー）：外面塗装

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	2種ケレン		4時間以内
下塗り	有機ジンクリッチペイント	240	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	140	1日～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	120	1日～10日

鋼道路橋防食便覧（平成26年3月） II-118より

- ⑤施工にあたっては十分な換気と養生を行い、必要膜厚を確保すること。また、素地調整作業により素地を露出させた部分については、4時間以内に防食下地（有機ジンクリッチペイント）を施すこと。
- ⑥工事完了後、塗装経歴の表示を行うこととし、表示位置、表示内容、表示方法については、監督員の指示によるものとする。
- ⑦品質管理及び出来高管理については、下記のとおりとする。

【品質管理】

試験項目	試験頻度	規格値
気温	1日2回（午前、午後）	鋼道路橋防食便覧 II-77
湿度	1日2回（午前、午後）	

【出来高管理】

試験項目	試験頻度	規格値
乾燥 塗膜厚	1ロット毎	鋼道路橋防食便覧 Ⅱ-85～91

(2) 表面被覆工

ペデストリアンデッキの地覆においては、景観性及び長寿命化の観点から、コンクリート面への保護塗装（CC-B塗装）を行う。なお、塗装の色彩については、監督員と協議し、決定すること。

①コンクリート面における塗替塗装仕様については、鋼道路橋防食便覧に定めるCC-B塗装とする。

【塗装仕様（CC-B）】

種類	規格	使用量 (g/m ²)
下地処理	サンダーケレン・シンナー拭き・ブラシ等	
プライマー	コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	100
下塗り(パテ)	コンクリート塗装用エポキシ樹脂パテ	300
中塗り	柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	260
上塗り	柔軟形ふっ素樹脂塗料用上塗	120

(3) 補修工

①断面修復工

(ア) 断面修復の実施に当たっては、劣化損傷部のコンクリートのはつり、鋼材の防錆処理を行うものとする。

(イ) はつりにあたっては、はく離、鉄筋露出等が生じている部分をできる限り撤去するものとする。なお、はつり部分の端部はフェザーエッジができないよう、コンクリートカッターで切断目地を入れ、入念に施工を行うこと。

(ウ) はつり部分が多くなり、構造物の耐荷力に影響を与える可能性がある場合は、はつりの順序について監督員と協議すること。

(エ) はつりの範囲等について疑義がある場合は、監督員と協議すること。

(オ) 使用材料は無収縮ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針（案）〔工法別マニュアル編〕平成 17 年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。

(カ) 鉄筋のかぶり厚さは、「セメント系材料を用いたコンクリート構造物の補修・補強指針 土木学会」に示すかぶり厚さ（鉄筋の直径に施工誤差を加えた値以上）を確保すること。

②ひび割れ補修工

ひび割れ補修にあたっては、内部にエポキシ樹脂を加圧して注入する低圧注入工法とする。

- (ア) ひび割れの箇所にあたっては、事前に状態を調査し、補修する範囲等について、監督員と協議すること。
- (イ) ひび割れの箇所の清掃にあたっては、損傷個所に沿った幅50mm程度に渡って、ワイヤブラシなどで周辺の汚れや脆弱部分などを除去すること。
また、注入する箇所に目詰まりなどがある場合は、ディスクサンダーやドリルなどを用いて注入口を開けて施工すること。
- (ウ) 施工にあたっては、ひび割れの幅に応じて専用器具の貼り付け位置を決め、専用器具または台座の注入口を塞がないように接着剤で固定し、ひび割れ部分に仮止めシール材を施工すること。
- (エ) 注入作業にあたっては、注入するエポキシ樹脂の主剤と硬化剤が規定量になるように正確に計量し、色むらがなくなるまで十分に混合すること。
- (オ) 注入作業完了後の養生にあたっては、エポキシ樹脂がゲル化するまで注入状況を確認し、注入作業が完了したら専用器具を設置した状態のままエポキシ樹脂の硬化養生を行うこと。

③目地工 (W=20mm・15mm)

裾隠し板の目地部に損傷及び劣化がみられることから、シール材 (W=20mm・15mm) により、再設置補修を行う。

(4) 化粧パネル清掃工

化粧パネルは経年による粉塵、ばい煙の汚れをウエス等により清掃を行う。吊り足場を基本とするが、これによりがたい場合は監督員と協議すること。

(5) 防水工

①素地調整

防水工の施工にあたっては、「鋼道路橋防食便覧 (平成26年3月) (社) 日本道路協会」に定める3種ケレンCにより、素地の不良部 (さび・割れ・膨れ) を除去するものとする。

②防水層

本工事に使用する防水層は塗膜系床版防水層 (アスファルト加熱型) とし、品質基準等については「道路橋鉄筋コンクリート床版防水層設計・施工資料 ((社) 日本道路協会) 」によるものとする。

(6) 通路部舗装工 (タイル修繕)

使用するタイルについては、極力滑りにくいものとし、規格・色調・デザインの選定にあたっては監督員と協議すること。

①タイルの施工にあたっては、十分な下地調整と下地養生期間を取り、工法の基準を守った正しい施工を行うこと。

②タイルの仕上がりは、不陸および汚れが目立たず、割れ・浮き上がりおよびふち欠けがないこととし、目地の色ムラ、目地の深さの不均一が目立たず、また所定の目地詰めが十分行なわれていること。

③人通りの多い箇所による施工であることから、施工方法、施工手順等の施工計画について、監督員と協議するものとする。

④下地調整、区画内におけるタイルの割付け段階において、監督員の承認を得てから、タイルの施工を行うこと。

(7) 階段部舗装工（ノンスリップタイル工）

使用するノンスリップタイルについては、極力滑りにくいものとし、規格・色調・デザインの選定にあたっては監督員と協議すること。

階段部の施工にあたっては、通路部と同様に仕上がりについて十分留意した施工を実施すること。

(8) 撤去工

①舗装撤去工

ペDESTリアンデッキ上部でのタイル・基層撤去においては、Co殻の周囲や第三者への飛散に十分留意し施工を行うこと。また、撤去したCo殻については、適切に運搬処分をすること。

②パネル撤去工

(ア) 化粧パネルの撤去にあたっての撤去範囲については、以下のとおりとする。

工 種	種別・細別	規格	単位	数 量			
				6径間	7径間	8径間	合計
パネル撤去工							
化粧パネル撤去工		パネル厚 (t=6mm)	m ²	82.8	61.2	30.2	174
ガス切断工	鋼材	鋼材 (t=6mm)	m	20.7	13.0	6.7	40.4
	運搬・処理	鋼材	t	1.0	0.8	0.4	2.2
	運搬・処理	アルミ	t	1.0	0.8	0.4	2.2

(イ) 化粧パネル撤去後においては、躯体ボルト接続部の鋼材をガス切断により除去し、撤去したパネル等の部材については、適切に運搬処分をすること。

(9) 足場工

本工事の足場の仮設にあたっては、受注者は現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部の構造等について十分検討を行い、受注者の責任において決定し、施工するものとする。また、通行車両又は歩行者、周辺施設への飛散防止対策を十分に行うこと。

①階段部（桁高1.5m未満）及び橋脚部については、有害物質を含む塗替え塗装を想定した足場工を実施するものとし、作業時においては、第三者への粉塵等の飛散の影響を及ぼさないよう、板張り防護による密閉作業を実施すること。

②通路部（桁高1.5m以上）については、ペDESTリアンデッキ上部における化粧パネル清掃の際の足場工を想定したものとする。

(ア) 階段部（桁高1.5m未満）

階段部については吊り足場による施工を想定しており、有害物質対策として、シート張防護を2重に設置し、素地調整が完了した際に鉛含有塗膜が付着したシートを撤去してから塗替え塗装に着手すること。

(イ) 通路部（桁高1.5m以上）

通路部については吊り足場による施工を想定しており、施工時には第三者への資材の落下等に十分留意して施工すること。

(ウ) 橋脚部

橋脚部については枠組足場による施工を想定しており、有害物質対策として、シート張防護を2重に設置し、素地調整が完了した際に鉛含有塗膜が付着したシートを撤去してから塗替え塗装に着手すること。

(10) 鉛対策工

鉛を含む塗膜の除去作業に関しては負圧集塵機、真空掃除機、クリーンルーム等の設置や作業員への安全衛生保護具等の着用について施工計画書に明記し、適切に実施すること。なお、防塵対策施設費として各機器のフィルター類を0.8ヶ月（供用月数）見込むものとする。

①防塵対策施設の内容及び使用量は下記を想定している。

名 称	単 位	合 計	適 要
負圧集塵機	台・月	1.6	2台×0.8ヶ月=1.6台・月
負圧集塵機用1次フィルター	枚	36.0	2台×22日×0.8ヶ月=35.2枚
負圧集塵機用2次フィルター	枚	7.0	2台×4回×0.8ヶ月=6.4枚
負圧集塵機用チャコールフィルター	枚	2.0	3か月1枚使用/台
負圧集塵機用HEPAフィルター	枚	2.0	3か月1枚使用/台
粉塵清掃用クリーナー（真空掃除機）	台・月	1.6	2台×0.8ヶ月=1.6台・月
粉塵清掃用クリーナー用1次フィルター	枚	7.0	2台×4回×0.8ヶ月=6.4枚
粉塵清掃用クリーナー用2次フィルター	枚	2.0	3ヶ月1枚使用/台
粉塵清掃用クリーナー用チャコールフィルター	枚	2.0	3ヶ月1枚使用/台
粉塵清掃用クリーナー用HEPAフィルター	枚	2.0	3ヶ月1枚使用/台
クリーンルーム	台	1.0	1台
エアシャワー	台・月	0.8	1台×0.8ヶ月=0.8台・月
エアシャワー用1次フィルター	枚	4.0	1台×0.8ヶ月×4回=3.2枚
エアシャワー用チャコールフィルター	枚	1.0	1台×1枚=1枚
エアシャワー用HEPAフィルター	枚	1.0	3か月1枚使用/台

※2種ケレン施工日数 58日/m²

②運搬・処分量については下記を想定している。

(1) 旧塗膜運搬費（汚泥）	W	=	0.247	t
(2) 防護服等運搬費（廃プラ）	W	=	0.374	t
(3) 旧塗膜処分費（汚泥）	W	=	0.196	m ³
※特別管理産業廃棄物に該当しない				
(4) 防護服等処分費（廃プラ）	W	=	0.340	m ³
※特別管理産業廃棄物に該当しない				

③呼吸用防護具等の使用量については下記を想定している。

名 称	単 位	合 計	適 要
電動ファン付呼吸用保護具	個	8	全面型面体
呼吸用保護具用フィルタ（1人1日4個使用）	個	480	
使い捨て全身化学防護服（1人1日4着使用）	着	480	
化学防護手袋（1人1日4組使用）	組	480	
シューズカバー（1人1日4足使用）	足	480	

※日当たり標準作業員数8人/日

(11) 付帯工

本工事において、歩行者通路を設置する場合は、適切な通路幅を確保すると共に工事施工範囲との境に隙間なく、さく等を設置し、通路部を明確に区分することとし、歩行者を通行させる路面は、凸凹をなくすなど、安全に十分配慮しなければならない。

また、本工事においては、以下の工種を付帯工事として計上している。

①場内小運搬

ペDESTリアンデッキ上部で取壊したCo殻を想定した荷下ろし場所への子車運搬費用。

②場外搬出

ペDESTリアンデッキ上部の荷下ろし場所から、揚重機を用いて大型土のうを荷下ろしする経費。

③仮囲い設置・撤去

ペDESTリアンデッキ上部における撤去工やタイル施工時など、第三者の侵入を防止するため、単管パイプ等を使用した簡易的な仮囲い仮設費。

④資機材荷揚

ペDESTリアンデッキ上部に資機材等を搬入する累計7日間に必要な費用。

⑤仮設点字マット設置・撤去工

タイル張り替え時において、一時的に点字タイルがない状態が生じることによる仮設点字マットの設置・撤去費。

また、仮設点字マットは支給品とし、旧道路補修事務所倉庫内（〒362-0058 埼玉県上尾市上野984）から往復運搬を行うこと。

⑥音声案内設置

施工に伴い生じる通行制限及び通行に注意を促す箇所の赤外線センサー付き音声案内機の設置・撤去費。設置箇所については、工事の進捗状況に合わせて適宜適切な箇所に設置すること。

また、赤外線センサー付き音声案内機は支給品とし、旧道路補修事務所倉庫内（〒362-0058 埼玉県上尾市上野984）から往復運搬を行うこと。

第12条 週休2日制適用工事

本工事は、上尾市「週休2日制適用工事（発注者指定型）」の試行対象工事である。

試行の実施は、上尾市「週休2日制適用工事」試行要領によるものとする。

試行要領は、上尾市役所ホームページで確認のこと。

上尾市役所ホームページ

(<https://www.city.ageo.lg.jp/page/355165.html>)

第13条 電子納品

(1) 適用

本工事は、電子納品対象工事とし、最終成果を電子データで納品するものとする。

(2) 電子成果品の作成

成果品は、国土交通省の各電子納品要領（案）・基準（案）及び、「上尾市電子納品運用ガイドライン」に示された内容に基づいて作成すること。

(3) 電子成果品の提出

成果品は、「上尾市電子納品運用ガイドライン」に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。なお、電子納品対象外の書類は紙媒体により1部提出すること。

(4) 電子成果品の提出

成果品の提出の際には、国土交通省作成の「電子納品チェックシステム」によるチェックを行い、エラーがないことを確認する。また、最新の定義データに更新したウイルス対策ソフトを用いてウイルスチェックを実施したうえで提出すること。